

外交・安全保障調査研究事業費補助金

補助事業実績報告書

※本報告書のほか、事業成果をアピールする資料(パワーポイントや動画等自由書式。最大3枚/3分程度)を提出すること。

(※当該資料は、単なる活動報告にしないこと。事業の新規性、研究成果によって得られた新たな知見及びそれに基づく政府へのアウトプット・提言等、事業成果について記載すること。)

1. 基本情報	
事業者名 東京大学先端科学技術研究センター	
事業分野	※募集要領にある分野 A～C のいずれかを記入のこと。 A 国際政治及び国際情勢一般
事業名及び事業概要	※事業計画書の該当部分を転載のこと。 「体制間競争の時代における日本の選択肢:国際秩序創発に積極的関与を行うための政策提言・情報発信とそれを支える長期シナリオプランニング」 既存の国際秩序が大きく動揺し、異なる価値観・文明圏に基づく秩序観を掲げる勢力が競合する「体制間競争」の時代に入ったという認識の上で、日本が新たな秩序の創発を主体的、主導的に担っていくための国際的な中核基盤を、東京大学内にシンクタンクを形成して提供する。
事業実施期間	※下記の期間から1つを選択し「○」を記入 ()1年間(令和 年度) ()2年間(令和 年度～令和 年度)(うち 年目) (○)3年間(令和 2 年度～令和 4 年度)(うち 3 年目)

2 事業の成果(アウトカム)

評価要綱3の項目につき、以下①、②の自己評価を記載すること(分量は自由)。

(※ 活動実績の詳細や定量的実績は下記「3-1」～「4-2」の欄に記載すること。)

① どのように取り組み、どのような成果があったか(工夫を凝らした点、前年度の事業から改善した点を含む)。

② どの部分につき進展・成果が不十分であったか。その原因、次年度での改善方法。

(1) 補助事業の成果

(基礎的情報収集・調査研究)

- 他の類似事業と比べて新規性があったか。研究成果により新たな知見が得られたか。

①について以下のとおり。

- (1) 新領域セキュリティの諸課題に関する分科会においては、認知領域に焦点を当てた研究活動を行った。当該問題は 2022 年に新国家安全保障戦略で初めて盛り込まれた新たな安全保障上の課題であり、日本のシンクタンクではほとんど研究が進んでいないところ、新規性の高い研究となった。また、研究の過程においては、ロシアや中国の実施する認知領域戦がどのような理論を背景としているのか、近隣国に対してどのような形で影響を及ぼしているのかが具体的に明らかになった。研究活動の成果の一部は 2023 年 1 月に書籍『偽情報戦争』として出版した。また、当該研究活動は国家安全保障戦略の改定や国家安全保障局による今後の政策策定にも貢献した。
- (2) 中国・権威主義体制に関する分科会においては、「米中対立」という人口に膾炙した認識枠組みを打破するという野心的な目標を掲げ、網羅的で自律的な研究組織を形成して研究活動を行った。特に、現状変更勢力とされる国々の内在的な論理と、大国間競争の「駒」として描かれがちな中小国(東南アジア・台湾等)が実際に大国とどのような関係性を構築しようとしているのかをここでの焦点とした。研究活動の成果は 2023 年 3 月に書籍『ユーラシアの自画像』として出版した。
- (3) 中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会においては、2020 年から 2022 年初頭にかけてのコロナ禍による往来の途絶の中、現地シンクタンク・大学とのオンラインによる国際共催セミナー・シンポジウムを多数開催した。2021 年 2 月-3 月(全 4 回)と 2022 年 2 月(2 回)に UAE アブダビのグローバルセキュリティ・防衛問題研究所(IGSDA)と共催した安全保障セミナーシリーズや、2021 年 3 月の「イスラエル・ウィーク」、2022 年 2-3 月の「イスラエル月間」で計 20 回に及ぶセミナー・講演会をオンライン開催した。2022 年初期からいち早く対面による中東諸国との渡航による対面での交流再開を行い、2022 年 3 月にはイスラエル・ヘルツリヤで大規模国際

会議を対面で行い、かつハイブリッドで日本および世界の聴衆に届けることができた。2022 年 12 月には UAE アブダビの外交アカデミーで、イスラエルと UAE と日本の「三極」の政策協議を共催した。また、海外の専門家の招聘も再開し、2022 年 12 月 5 日には東大先端研に UAE およびエジプトから安全保障専門家を招きワークショップ“Regional Security in the Middle East and the Indo-Pacific in the Context of the Russian-Ukrainian War”を開催した。イスラエルと UAE への重点化は、2020 年 8 月のアブラハム合意に先駆けて取り組んだものだったが、結果として中東地域秩序の再編過程をオンタイムで現地機関と共に分析することになった。

- (4) 米国・既存秩序の動揺に関する分科会は、2020 年の米大統領選挙、2022 年の米中間選挙、そして 2022 年 2 月から始まったロシアによるウクライナ侵攻と、米国を中心とした既存秩序に対する外部の脅威と内部の揺れ動きを分析する会合を実施した。ロシアによるウクライナ侵攻の分析にあたっては、米国・既存秩序の動揺に関する分科会だけでなく、新領域セキュリティの諸課題に関する分科会、中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会の代表者や委員が広く公共的に分析や政策論を発信し世論形成に貢献したが、本プロジェクトにおける専門家の間の非公開の議論でも、ウクライナの現状や、侵攻に関する日本の言論空間の状況認識についての率直な意見交換をおこなった。米大統領選挙については投票日前に非公開の検討会を行った上で、選挙直後にウェビナーによる分析を大規模な参加者に向けて行った。米中間選挙の分析に際しては京都でも会合を実施し、地元新聞に会合の様子が取り上げられるなど、全国的に、および地方社会とも連携しながら発信を行い、反響を呼び起こした。
- (5) 新領域セキュリティの諸課題に関する分科会が中心となって2年度目に立ち上げた衛星画像分析プロジェクトにおいて、ロシア軍東部軍管区の予備装備保管基地における装備在庫量の分析を行った(英語)。衛星画像分析は日本のシンクタンクでもほとんど例のない試みである中、ロシアとウクライナの戦争という現在進行形の事象に関して世界に向けて知見を発信することができた。このほか、成果物の形は取っていないが、衛星画像を国民の外交・安全保障問題に関する理解増進のための情報発信(後述)に幅広く活用した。このような方法は今後、朝鮮半島や台湾海峡をめぐる、我が国にとってより喫緊の局面においても応用可能であるという手応えを得た。
- (6) インド太平洋交通安全保障に関する分科会では、令和3年度に続き、米国、シンガポール、台湾、フィリピン国籍のメンバーと議論し、また分科会の規模も更に3名追加して11名に拡大した。令和3年度では交通安全保障の基礎となるコンセプトや課題に関する議論をしたが、令和4年度では新興技術、インド太平洋地域情勢等の新たな問題や、関連する国際法や条約、安全保障協力体制等の現在の取り組みにおける問題を中心に研究報告と議論を行った。また、外務省、防衛省、国土交通省等の公官庁にも案内を行い、意見交換及び議論の共有をできるよう工夫

し、より理論と実務を交えた議論を行った。令和3年度の途中に立ち上げた本分科会だが、短期間で活発な議論が行われ、幅広く知見を集結できたことは大きい。特に、「交通システムの安全保障」に対する統一された概念と理解が産学官レベルで定着していないことが、安全保障上大きな問題であると認識された。よって、複雑化する交通システムと安全保障における問題を解決するためにも、産学官で連携し、更なる議論と連携が必要である。また、本分科会のメンバーの結束も強く、今後とも議論を行い、将来的には政策提言型の論文集を作成する予定である。

(7) 政策シミュレーション

インド太平洋交通安全保障のサブ・グループとして立ち上げられた政策シミュレーション研究プロジェクトでは、主に外部から専門家を招聘し、ウェビナーや勉強会を通じて政策シミュレーションのデザインと実施について学んだ。令和3年3月には、アメリカ・エンタープライズ・インスティテュートのザック・クーパー博士と対談式のウェビナーを実施し、日米同盟の観点からしたインド太平洋地域のシナリオについて議論した。また同月には政策シミュレーションの専門家であるアトランティック・カウンシルのテート・ナーキンとジョン・ワッツを講師として招聘し、政策シミュレーションのデザインと実施における基本と注意点について学んだ。その他にも、非公式の形で、メンバー間で様々なシナリオと、これらに基づいた「政策ゲーム」について議論した。また、防衛省等の公官庁にも案内を行い、理論と実務に基づいた議論も行なった。安全保障政策・戦略の形成において政策シミュレーションは不可欠であり、またこれは我が国において発展途上の分野であるため、引き続き議論及び検証する予定である。

- (8) 米国・既存秩序の動揺に関する分科会のサブ・グループである日米安保資料プロジェクトは、まず日米同盟の歴史的意義を深めるための外交史研究の一環として、6月に沖縄返還50年のウェビナーを実施した。続いて、ウェビナー参加メンバーで複数の外部研究会や学会発表に参加し、その成果を論文のかたちで『ROLES Review vol.3』に公表した。外交史研究の活動と並行して、日米安保条約の歴史的資料を収集・整理する活動を行い、2023年3月末に、同資料のオンライン・データベースを試験的に実装・公開した。本データベースは、日米両国の外交史料を同時かつ対比的に閲覧できる形式を取っている点で、既存の資料集・データベースにはない特徴を持っている。

②について以下のとおり。

- (1) 新領域セキュリティの諸課題に関する分科会においては、扱うテーマが多岐にわたるために議論が拡散する傾向があった。このため、3年度目においては認知領域の安全保障に焦点を絞ったが、その分、軍事面の安全保障研究、個別の地域に関する研究、先端技術の動向に関する研究

がほとんど行えなかった。この点については、次期発展型総合事業において認知領域、軍事面の安全保障研究、個別の地域に関する研究、先端技術の動向に関する研究を個別の分科会・タスクフォース等に分割するとの対応を取ることにした。また、新領域セキュリティの諸課題に関する分科会は2年度目まで公官庁の実務者をオブザーバーとして招いていたが、3年度目においては国家安全保障戦略への提言に関して独立性を保つ観点から非公開で行った。次期発展型総合事業においては各分科会の委員としてより多数の実務者(公官庁・企業)を登用するとともに、差し支えない内容に関してオブザーバー制度を復活させる。

- (2) 衛星画像分析プロジェクトの発信頻度が低かった。光学衛星のみを用いていたために、夜間や悪天候の続く時期には撮像頻度の限界が生じたことに加え、分析を行い、成果物をまとめるための人的リソースが不十分であったことが大きな原因と考えられる。次期発展型総合事業においては合成開口レーダー(SAR)衛星を併用するとともに、民間企業から衛星画像分析の専門家2名を客員研究員に迎えることで改善を図る(客員研究員人事は承認済み)。
- (3) 中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会では、海外機関およびそこに属する海外研究者との国際・共催ウェビナーを多数回開催し、コロナ禍による制限の緩和に先駆けて早期に現地での活動を座長自らが行ったため、国際展開は活発に行ったが、国内における分科会委員による会合の開催が滞ったきらいがある。これについては国内委員の海外イベントへの招聘による、分科会会合のさらなる国際化とによって乗り越えていくとともに、それら国際展開の準備会合としての性質を持つ研究会合を日本国内で開催していくことで日本側のコミュニケーションの改善を図る。

(諸外国シンクタンク・有識者との連携の強化)

- 研究過程における外国シンクタンク・有識者等(在日の有識者、外交官、外国メディア関係者を含む)との定期的な討論や共同研究等を通じ、諸外国の視点を取り入れた調査研究や、日本の立場や見解に関する外国シンクタンク・有識者等による理解の増進に取り組んでいるか。
- (※ 活動内容のみではなく、外国シンクタンク・有識者との連携がどれほど、どのように深められたかを総括的に記載すること。)

①について以下のとおり。

- (1) ROLES と東京大学法学部の松里公孝教授の科研費プロジェクトの合同企画として、米海軍分析センター(CNA)のロシア軍事専門家マイケル・コフマン博士とロシア高等経済学院(VShE)のワシリー・カーシン教授を招き、ロシア・ウクライナ戦争を軍事面から分析するワークショップを開催し

た。ROLES 側からは小泉悠講師と山口亮特任助教が出席したほか、防衛研究所から高橋杉雄政策研究室長、山添博史主任研究員も招き、ロシア側の軍事戦略、作戦術、継戦能力などに関して高度に専門的な知見の交換を行うことができた。特にコフマン博士はヘルソンにおいてロシア軍とウクライナ軍の戦線を視察したばかりであり、報道レベルで窺い知れない戦争の実相に関しての知見を日本側にもたらした。一方、日本側からは小泉悠講師が開戦後の極東ロシア軍に関する状況が衛星画像分析を交えて紹介され、日本の公開情報インテリジェンス能力を示す機会となった。

- (2) 池内恵教授はイスラエルのテルアビブ大学モシェダヤン中東アフリカ研究センター(MDC)に2022年度を通して上級客員研究員として滞在し、ウツィ・ラビ所長、ブランドン・フリードマン研究部長との協力関係を構築し、学内・国内、さらに中東域内のネットワークを構築した。その際には現地日本大使館(テルアビブ、アブダビ)との密接な協力関係を築き、官・学の連携によって日本から現地に派遣される有識者による講演やシンポジウム・ラウンドテーブル等の企画をより的確なアジェンダセッティングとより専門的な参加者の確保、またより広い現地社会への訴求が可能になった。一例としては2022年10月25日にテルアビブ大学MDCおよび東アジア学科と共催しテルアビブ大学併設のユダヤ民族博物館大ホールで大規模に開催した講演会である。また、ライヒマン大学アバ・エバン外交国際関係研究所(ヘルツリヤ)のアジア政策プログラムとの連携を密接に行い、2022年3月の第1回日・イスラエル年次国際会議をUAEおよびバーレーンを含んだ「三極」会議として立ち上げるとともに、2022年10月には日本から岩間陽子政策研究大学院大学教授を招いた講演会を開催した。同時に、イスラエルの代表的な安全保障シンクタンクであるテルアビブ大学国家安全保障研究所(INSS)との関係を強化し、2022年10月には安全保障政策をめぐる非公開ラウンドテーブルを開催した。さらにハイファ大学海洋安全保障研究所とも非公開ラウンドテーブルを開催し、イスラエルの主要外交・安全保障シンクタンクのほぼ全てを網羅するネットワークを築いている。これらに加え、ヘブライ大学と東大の大学間協定および2022年には交換留学協定を合意し、2023年度からの学生の相互派遣に道筋をつけるなど、二国間関係の強化の下支えとなる作業を行った。イスラエルとの関係強化はイスラエルと湾岸産油国との関係強化に主体的に関与する経路を開いた。2022年12月にライヒマン大学AEIとUAEアブダビのアンワル・ガルガーシュ外交アカデミーと共にUAEアブダビで開催した日・イスラエル・湾岸「三極」会議はその例である。

- (3) 山口亮特任助教は防衛情勢と交通の安全保障の両面で研究を進め、国内外で積極的に活動した。特に、米国を含むインド太平洋地域の有識者と連携し、国際的なアプローチで意見交換等を行い、ROLESのインド太平洋安全保障プロジェクトを展開した。パシフィック・フォーラム・インターナシヨ

ナルとは2回のヤング・リーダーズ会議を東京で共催し、その他にもウェビナーや分科会の会議も実施した。また、山口特任助教自身もパシフィック・フォーラム・インターナショナルとアトランティック・カウンシル等が主催する会議や政策シミュレーションに度々招聘され、その他数々の刊行物や会議出席等で個人の見解だけでなく、ROLES の存在と活動を広めた。

(4) その他

ROLES の所在する東大先端研にて「RCAST セキュリティ・セミナー」を定着させ、来日する外交・安全保障専門家が立ち寄り、専門家および市民に向けた対面のセミナーにより議論を深める場を設定した。これにより、2023 年 1 月のヨッシ・シャイン・テルアビブ大学教授（元イスラエル国会議員・外務委員会委員、元外相特別顧問）のセミナー講演、同年 3 月のアリー・ファーエズ・インターナショナル・クライシス・グループ（米・ワシントン）のイラン分析部長のセミナーを開催した。これをより大規模化した RCAST セキュリティ・ワークショップも有力研究者の複数の来日時には設定しており、2022 年 12 月には UAE アブダビの IGSDA や韓国外語大学のプロジェクトによる各国有識者の来日の際に分析と政策協議を行う場となった。

②について以下のとおり。

- (1) 新領域セキュリティの諸課題に関する分科会の研究内容や委員の持つネットワークに鑑みて、諸外国シンクタンク・有識者との連携をより活発に実施できるはずであったと反省する。この点については、当該分科会の村野将委員がハドソン研究所に所属していること、栗原響子委員がカナダで在外研究中であることを活かして次期発展型総合事業での解決を図りたい。また、小宮山巧一郎委員と高森雅和委員が諸外国のサイバーセキュリティ企業との強いコネクションを持つことから、サイバー・認知領域でも連携の強化を図れると考えている。
- (2) 中国・権威主義体制に関する分科会では、日本国内で考える限りの成果をかなりの程度まで達成したと考える。したがって、次期発展型総合事業では、研究対象国のシンクタンク・有識者を招いてより国際的な形で研究の継続を図りたい。

（日本の主張の世界への積極的発信と国際世論形成への参画）

- インターネットによる広報やセミナー・シンポジウムの実施・参加等を通じ、日本の主張の国際社会への発信が積極的になされたか。その結果として国際世論の形成に参画することができたか。

（※活動内容のみではなく、どのような発信が、どのように国際世論の形成への参画につながったかを総括的に記載すること。）

- ① イスラエルと UAE のシンクタンクとの共催による「三極」協力の重要性をテーマとして国際会議を 2022 年 3 月にライヒマン大学外交国際問題研究所と共催し、さらに 2022 年 12 月に UAE アブダビのアンワル・ガルガーシュ外交アカデミーで日・イスラエル・湾岸の「三極会議」を開催し、共著の新聞コラムと雑誌論説を合計 4 回開催したことをきっかけとして、日・イスラエル外相電話会談においてイスラエルの外相から三極枠組みの推進への賛意が表明されるなど、日本の中東・湾岸地域での積極的な関与に関する期待を現地の政策当局に認識させる効果を得た。また、トルコの出版社から日本の立場による国際政治論をトルコ語および英語で刊行し、現地の専門家層の議論に日本の立場を組み込む経路を示した。アラビア語の最有力紙 Asharq al-Awsat および、最有力月刊誌 Majalla に寄稿し、アラビア語国際衛星放送局 Sharq News のインタビュー討論番組 al-Madar に登場して司会者との討論で日本の立場を論じるなど、アラビア語世界で理解が低い日本の対外政策を日本の立場から説明する経路を切り開いた。米パシフィック・フォーラムとの協定に基づき、パシフィック・フォーラムが日本で開催するシンポジウムやラウンドテーブルに協力し、日米の安全保障関係を担う若手人材の育成を担った。
- ② 国際発信を行う際の相手先機関やメディアが中東に限定される傾向があり、米ワシントン DC や、欧州ブリュッセル、英ロンドン等の外交・安全保障の中心的都市のシンクタンク・メディアや、シンガポール、インドネシア等の ASEAN 諸国の代表的シンクタンクや、オーストラリア、インド等のインド太平洋地域の有力シンクタンクとの関係強化を進め、それらの主要都市・メディアでの国際発信を強化する必要がある。

(国民の外交・安全保障問題に関する理解増進)

- インターネットによる広報やセミナー・シンポジウムの実施・参加等を通じ、国民の外交・安全保障に関する理解増進に取り組んだか。また、その反響があったか。
- (※活動内容のみではなく、どのような活動がどう国民の理解を増進したのか、どのような反響があったかを総括的に記載すること。)

①について以下のとおり。

- (1) ROLES のメンバーが積極的なメディア出演を行った。池内教授は国際情報誌『フォーサイト』や雑誌『公研』への編集企画協力・助言を向上的に行い、主要な外交・安全保障専門家のこれらの媒体への執筆・掲載の道を開き、外交・安全保障に関する適切なアジェンダ・セッティングに尽力した。池内教授が有志と共に開設した YouTube チャンネル「国際政治 ch」の多くの企画により、広く一般に、定期的・恒常的に外交・安全保障に関して、専門的テーマに合致した専門家を紹介していくことで、質の高い議論が適時・適切に展開されることを促進し、健全な国民的議論を喚起する

経路を定着させた。小泉悠講師はロシアとウクライナの戦争に関して広く各種メディア上で解説を行い、ロシアのウクライナ侵攻が「自衛」ではなく国連憲章違反の侵略行為であるという国民的理解を深める上で大きな役割を果たした。また、衛星画像分析プロジェクトによって契約した衛星画像を用いてロシア軍の動き等についても具体性の高い分析・発信を行うことができた。小泉悠講師は当該の実績によって 2022 年度の中曽根康弘賞を受賞した。山口亮特任助教は主に国外での活動に専念し、パンフィック・フォーラム・インターナショナルとアトランティック・カウンシル等の会議や政策シミュレーションに度々招聘され、また海外で数多くの刊行物を出した。また、北朝鮮と中国の軍事戦略・動向に関して国内外のメディア上で解説を行い、両国による脅威が如何に高まっているか、そして対策における課題に関する知見を広めた。

- (2)2022 年 4 月にハーバード大学教授であるスティーブン・M・ウォルトを招き、主著『同盟の起源』の邦訳刊行を記念する国際ウェビナー「脅威の均衡による世界:『同盟の起源』再考」を実施した。ロシアによるウクライナ侵攻で改めてその意義が問い直された「同盟」をテーマに、日本人研究者も交えながら同盟の効果と機能、そしてロシアの行動をどう読み解くか公開で議論した貴重な機会となった。なお、当該セミナーには 459 人の参加があった。
- (3) 2022 年 12 月に国際ウェビナー「『安全保障のトライアングル』—ロシアによるウクライナ侵攻の中東と中国への影響」を実施し、ロシア、中東、日本の専門家から見たロシアによるウクライナ侵攻の意味とインパクトを公開で議論した。ロシアとウクライナの二国間問題として理解されがちな当該の問題を多角的に理解する機会を日本国民に幅広く提供する機会となった。なお、当該セミナーには 352 人の参加があった。
- (4) 2023 年 3 月に国際ウェビナー「進化する日米同盟課題: 今後の課題と台湾有事」を実施し、日米同盟が直面する新たな課題と懸念、そして必要となる新たな対策と戦略についてアメリカン・エンタープライズ・インスティテュート、シニア・フェローのザック・クーパー氏と山口亮特任助教が議論した。なお、当該セミナーには 85 人の参加があった。
- (5)2022 年 6 月に国内ウェビナー「ROLES 研究セミナー「沖縄返還の道のりを振り返る」」を実施し、2022 年で 50 年を迎える沖縄返還の道のりと意義について報告・議論した。2022 年はサンフランシスコ平和条約の発効から 70 年の節目でもあり、戦後日本外交における沖縄の位置づけや、日米同盟の歴史的な歩みを振り返る機会となった。なお、当該セミナーには 133 人の参加があった。
- (6)2022 年 9 月に国内ウェビナー「ウクライナにおける戦争からの教訓 サイバーなどでの各国の動き」を実施し、ロシアによるウクライナ侵攻におけるサイバー攻撃やその意義、日本への教訓について

議論した。近年、急速に注目が集まっているサイバー領域の最先端の知見と議論を幅広く人々に提供する機会となった。なお、当該セミナーには 206 人の参加があった。

(7)和英両文のコメンタリーやレポートに加え、新たに査読付きの紀要として「ROLES Review」を創刊した。前年度に刊行した創刊号は既に発表されたレポートを集めたものだったが、今年度は英文の書き下ろし論考を集めた2号、和英両文の書き下ろしを集めた3号と、年間で2本刊行した。今後は刊行数を年一本とすることで、組織の発信力をより集中させ、論考の質と数の向上をはかっている。

(8) その他

②について以下のとおり。

(1) ROLES のメンバー内で、国民の外交・安全保障問題に関する理解増進への貢献度に大きなバラつきがあった。ROLES は独自の YouTube チャンネルを持ち、マスメディアに露出しないメンバーについても発信を行える体制を有しているが、これについても発信は一部のメンバーに限られた。今後は ROLES のメンバーが持つ多様な知見を積極的に発信していけるよう、メンバーを対外発信担当委員に任命するなどして、国民の外交・安全保障問題に関する理解増進をより活発に行える体制づくりを進める。

(2) 補助事業の実施体制及び実施方法

- 若手、女性、地方在住研究者を積極的に登用しているか。若手研究者の育成(英語による発信力の強化を含む。)に取り組んでいるか。

① 本プロジェクトでは、オンライン形式での会合開催の強みを活かして、国内外、首都圏を問わず優れた研究者をメンバーとして引き入れており、若手研究者／首都圏居居の研究者の割合が全治の半分近く、女性研究者が全体の2割を占めている。本事業の推進母体である ROLES も全員が 30－40 代であり、女性の比率も高い。若手研究者の育成については、昨年度から ROLES の一員となった山口亮座長が、本プロジェクトにおける対外発信を一手に引き受け、英語対談動画シリーズ「ROLES Talk」を立ち上げ、若手／女性／国外・地方在住研究者をゲストに迎えた対談動画を配信したり、英語による論考を発表しており、今年度も引き続き英語での発信頻度が格段に上昇している。

- 複数の分科会や研究会がある場合、それらの間の有機的な連携が取れているか。

① 本プロジェクトでは、第一に、各分科会の座長間で適宜会合が開かれ、互いの進捗状況を確認している。また、池内座長は2つの分科会を束ね、小泉座長、山口座長は、別の分科会の委員でもあるため、進捗状況がリアルタイムで把握できる状況にある。また、各分科会座長と幹事によるミーティングが月1回の頻度で開催されている。第二に、分科会会合の開催情報は、幹事をつうじてすべての分科会に常に共有され、また本プロジェクトの委員は、どの分科会会合にもオブザーバー参加できるようになっている。第三に、分科会間での委員の相互乗り入れ(別の分科会で報告を行うなど)も行っている。

- 外務省等の関係部局とのコミュニケーションを構築し、政策立案上のニーズを把握し、それを踏まえて効果的にアウトプット・政策提言を行ったか。

①について以下のとおり。

- (1) 新領域セキュリティの諸課題に関する分科会は、国家安全保障戦略をはじめとする防衛三文書の改訂に際して、研究成果を踏まえた提言をまとめ、公表した。地域研究、安全保障研究、先端技術を幅広く扱う当該分科会の特徴を活かし、幅広い分野・課題を網羅した提言を作成することができた。また、提言の公表に先立ち、当該分科会座長の小泉悠講師は自民党安全保障調査会で2度にわたる意見聴取を受けたほか、国家安全保障局からも意見聴取を受けるなど、政府の安全保障政策策定に関して具体的に貢献することができた。
- (2) 新国家安全保障戦略に盛り込まれた認知領域の安全保障に関する最新の動向や具体的な対処策等について、最先端の研究成果と実務者をつなぐ役割を果たすことができた。
- (3) 中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会では、座長である池内教授が2022年初頭から定期的・長期間にイスラエルに滞在し、在イスラエル日本国大使館と密接に協力し、日本からの有識者派遣・講師派遣・国際会議支援等の事業に密接に関わり、その開催頻度や派遣する講師人選・テーマ設定、相手国のカウンターパート・関係機関の選定に精度を高め、訴求力と効果を著しく高めた。UAE アブダビでの日・イスラエル・湾岸三極会議の開催においては在UAE 日本国大使館と密接に協力し、大使・公使・書記官はじめとした大使館員の参加をもたらすと共に、関連した夕食会の開催等につなげた。2023年1月のエジプト訪問では在エジプト大使館では駐エジプト大使と共に、エジプト外務省高官訪問や外務省参加の機関でのラウンドテーブルで共にキーノートスピーチを行うなど、緊密な協力関係を築いた。また、ギブール・ドラモット仏INALCO 准教授の、東京大学客員准教授としての来日を招聘し、内閣広報室や内閣安全保障局と連携して公開・非公開の会議に結びつけるなど、省庁や予算枠組みを横断・連関させ、その効果を高め、関係を長期持続させる下支えをおこなった。

②について以下のとおり。
(1) 国家安全保障戦略への提言に関して、分科会間の連携が不十分であった。より時間をとって分科会間での議論を行うなどして、より幅広い知見を盛り込んだものとすべきであった。この点については、次期発展型総合事業の枠内において国家安全保障戦略の中間レビューを行う際の方針として反映することにした。
(3) 補助金の使用
● 補助金は効率的に使用されているか。
① 今年度も旅費の多くと招へい費の分は、昨年度発足させた分科会、サブ分科会の調査費用や、会合開催にかかる謝金、論考執筆の原稿料、また、データベース使用料などに充てることで、プロジェクトの拡充を図った。また、海外有識者との公開ウェビナーには日英同時通訳を導入することで、海外有識者との連携強化のみならず、外交・安全保障への国民の理解増進を図った。その成果は、3-1に示す通りである。以上の通り、今年度も事業計画遂行のため、補助金は効率的に使用されている。
● 補助金の適正な執行・管理のために十分な体制がとられたか(管理者による予算全体の配分・管理や支出の適正性を判断する担当者と実際の支出を承認する担当者の区分等)。
① 予算全体の配分・管理は、事業総括者と副総括者らが配分の方針を決め、それに基づき経理担当の事務補佐員が執行状況を管理している。支出の適正性については、事業総括者、副総括者らが支出の際に確認する。支出の依頼は事務補佐員が行うが、支出の承認は大学事務部門が行う。

3-1 事業の実施状況・成果

※以下の4つのカテゴリーに沿って、具体的な実施状況(日時、場所、参加者/参加人数、テーマ、調査、議論や対外発信の概要、成果等)について記載すること。(分量自由)

事業の実施状況は以下の通り。なお、議論の詳細については、「別添資料」(議事録、配布資料等を収録)を参照されたい。

1. 基礎的情報収集・調査研究

(1) 中国・権威主義体制に関する分科会

① 第1回会合

【日時】

2022年4月22日(金)10:00~12:00

【会議形式】

オンライン(Zoom)

【参加者/参加人数】20名

〔報告者〕

伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター

岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授

〔出席者〕

〔座長〕

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

〔委員〕(五十音順)

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理

家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授

岡本 隆司 京都府立大学文学部教授

日下 渉 東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師

鈴木 絢女 同志社大学法学部教授

鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授

田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授

西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教

宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授/東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

〔オブザーバー〕

他分科会より1名、外務省より4名出席。

【概要(テーマ/議論や対外発信の概要、成果)】

「ISSUE」を共通テーマに、伊藤和歌子委員より「宇宙シルクロード」を読み解くためのヒントー中国と一

帯一路沿線国との宇宙協力のあり方から」、岡本正明委員より「ASEAN におけるスマートシティづくりに
みる米中対立の空虚化」と題する報告がなされたのち、出席者間で討論が行われた。

② 第2回会合

【日時】

2022 年 5 月 23 日(月)12:30～14:30

【会議形式】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】30 名

〔報告者〕

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授
乗松 亨平 東京大学大学院総合文化研究科教授

〔出席者〕

〔委員〕(五十音順)

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理
家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授
伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター
岡本 隆司 京都府立大学文学部教授
岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授
日下 渉 東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授
小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師
鈴木 絢女 同志社大学法学部教授
鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授
田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員
中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授
西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教
山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

〔オブザーバー〕

他分科会より2名、外務省より13名出席。

【概要(テーマ／議論や対外発信の概要、成果)】

「歴史・思想」を共通テーマに、川島真座長より「習近平政権下中国の歴史政策-『四史』の提唱と共
産党中心史観」、乗松亨平委員より「現代ロシアにおける「ナショナル・デモクラシー」の動向」と題する報
告がなされたのち、出席者間で討論が行われた。

③ 第3回会合

【日時】

2022 年 6 月 22 日(水)10:00～12:00

【会議形式】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】23 名

〔報告者〕

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理

中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授

〔出席者〕

〔座長〕

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

〔委員〕(五十音順)

家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授

伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター

岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授

日下 渉 東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授

鈴木 絢女 同志社大学法学部教授

鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授

西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教

乗松 亨平 東京大学大学院総合文化研究科教授

松田 康博 東京大学東洋文化研究所教授

宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

〔オブザーバー〕

他分科会より 4 名、外務省より 5 名出席。

【概要(テーマ／議論や対外発信の概要、成果)】

「内政・外政」を共通テーマに、青木まき委員より「タイにおける国内政治と対外関係の交差」、中西嘉宏委員より「ミャンマー危機からみる米中対立と価値観外交とのジレンマ」と題する報告がなされたのち、出席者間で討論が行われた。

④ 第 4 回会合

【日時】

2022 年 7 月 19 日(火)10:00～12:00

【会議形式】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】34 名

〔報告者〕

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師

[出席者]

[座長]

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

[委員](五十音順)

家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授

伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター

岡本 隆司 京都府立大学文学部教授

岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授

日下 渉 東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授

鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授

田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教

乗松 亨平 東京大学大学院総合文化研究科教授

宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

[オブザーバー]

他分科会より6名、外務省より15名出席。

【概要(テーマ／議論や対外発信の概要、成果)】

「歴史・思想」を共通テーマに、小泉悠委員より「ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障」と題する報告がなされたのち、出席者間で議論が行われた。

(2) 中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会

① 第1回会合

【日時】

2023年1月13日(金)13:00～15:00

【会議形式】

「米国・既存秩序の動揺に関する分科会」「新領域セキュリティの諸課題に関する分科会」との合同会合
対面(東大先端研)とオンライン(Zoom)の併用

【参加者／参加人数】8名

[座長]

坂元 一哉 大阪大学名誉教授

[幹事・副幹事]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[米国・既存秩序の動揺に関する分科会委員](五十音順)

杉田 弘毅 共同通信社特別編集委員
鶴岡 路人 慶應義塾大学総合政策学部准教授

【新領域セキュリティの諸課題に関する分科会】(五十音順)

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師
合六 強 二松學舎大学国際政治経済学部准教授

【中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会】(五十音順)

東野 篤子 筑波大学人文社会系教授

【概要(議論や對外発信の概要、成果)】

「ウクライナ侵攻の展開と今後のシナリオ・プランニング」の議題のもと、小泉悠・新領域分科会座長より問題提起がおこなわれ、議題について出席者で自由に議論・検討、意見交換がおこなわれた。

(3) 米国・既存秩序の動揺に関する分科会

① 第1回会合

【日時】

2022年8月4日(木)13:00～15:00

【会議形式】

「新領域セキュリティの諸課題に関する分科会」との合同開催
対面(東京大学先端研)とオンライン(Zoom)の併用

【参加者／参加人数】 16名

【報告者】

合六 強 二松學舎大学国際政治経済学部准教授

【座長】

坂元 一哉 大阪大学名誉教授

【座長(代理)】

村田 晃嗣 同志社大学法学部教授

【幹事・副幹事】

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授
鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員
狩野 希望 東京大学先端科学技術研究センター協力研究員

【委員(米国・既存秩序の動揺に関する分科会)】(五十音順)

小谷 哲男 明海大学外国語学部教授
杉田 弘毅 共同通信社特別編集委員
高橋 慶吉 大阪大学法学研究科教授

瀧井 一博 国際日本文化研究センター教授
鶴岡 路人 慶應義塾大学総合政策学部准教授
待鳥 聡史 京都大学大学院法学研究科教授

[委員(「新領域セキュリティの諸課題に関する分科会」)](五十音順)

栗原 響子 日本国際問題研究所研究員
佐橋 亮 東京大学東洋文化研究所准教授
松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

[オブザーバー]

東野 篤子 筑波大学人文社会系教授
廣瀬 陽子 慶應義塾大学総合政策学部教授

【概要(議論や対外発信の概要、成果)】

会の冒頭、池内幹事より令和3年度の分科会の運営について話があった。続いて、「ロシア・ウクライナ戦争と欧州安全保障の行方」の議題のもと、合六強委員より報告があり、それを受けて出席者間で活発な討論がおこなわれた。

② 第2回会合

【日時】

2022年11月28日(月)12:00～14:00

【会議形式】

対面(京都市よしやまち町家校舎)とオンライン(Zoom)の併用

【参加者／参加人数】 15名

【報告者】

待鳥 聡史 京都大学大学院法学研究科教授

[座長]

坂元 一哉 大阪大学名誉教授

[座長代理]

村田 晃嗣 同志社大学法学部教授

[幹事・副幹事]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授
鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[委員](五十音順)

合六 強 二松學舎大学国際政治経済学部准教授
高橋 慶吉 大阪大学大学院法学研究科教授

瀧井 一博 国際日本文化研究センター教授
鶴岡 路人 慶應義塾大学総合政策学部准教授

[オブザーバー]

阿部 亮子 同志社大学法学部助教
岩瀬 昇 エネルギーアナリスト
鈴木 均 日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任研究員
中井 遼 北九州市立大学法学部准教授
松本 佐保 日本大学国際学部教授
吉岡 明子 日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究主幹

【概要(議論や対外発信の概要、成果)】

「アメリカ政治は極端派の伸長を食い止められたか:2022 年中間選挙結果から考える」の議題のもと、待鳥聡史京都大学大学院法学研究科教授より報告があり、それを受けて出席者より活発な討論がおこなわれた。

③ 第3回会合

【日時】

2023 年 1 月 13 日(金) 13:00～15:00

【会議形式】

「新領域セキュリティの諸課題に関する分科会」「中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会」との合同会合

対面(東大先端研)とオンライン(Zoom)の併用

【参加者／参加人数】 8 名

[座長]

坂元 一哉 大阪大学名誉教授

[幹事・副幹事]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授
鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[米国・既存秩序の動揺に関する分科会委員](五十音順)

杉田 弘毅 共同通信社特別編集委員
鶴岡 路人 慶應義塾大学総合政策学部准教授

[新領域セキュリティの諸課題に関する分科会](五十音順)

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師
合六 強 二松學舎大学国際政治経済学部准教授

[中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会](五十音順)

東野 篤子 筑波大学人文社会系教授

【概要(議論や对外発信の概要、成果)】

「ウクライナ侵攻の展開と今後のシナリオ・プランニング」の議題のもと、小泉悠・新領域分科会座長より問題提起がおこなわれ、議題について出席者で自由に議論・検討、意見交換がおこなわれた。

④ 第4回会合

【日時】

2023年3月29日(金)15:30～17:30

【会議形式】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】 16名

[報告者]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

[座長(代理)]

村田 晃嗣 同志社大学法学部教授

[幹事・副幹事]

鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[委員](五十音順)

合六 強 二松學舎大学国際政治経済学部准教授

小島 吉之 帝塚山大学非常勤講師

杉田 弘毅 共同通信社特別編集委員

高橋 慶吉 大阪大学大学院法学研究科教授

鶴岡 路人 慶應義塾大学総合政策学部准教授

待鳥 聡史 京都大学大学院法学研究科教授

[オブザーバー]

岩瀬 昇 エネルギーアナリスト

小林 周 元・日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員

辻田 俊哉 関西外国語大学英語国際学部准教授

中井 治郎 龍谷大学非常勤講師

中井 遼 北九州市立大学法学部准教授

東野 篤子 筑波大学人文社会系教授

宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授

【概要(議論や对外発信の概要、成果)】

「第6次ネタニヤフ政権の米・イスラエル・湾岸関係への影響」の議題のもと、池内恵・東京大学先端科

学技術研究センター教授より報告があり、それを受けて出席者より活発な討論がおこなわれた。

(4) 新領域セキュリティの諸課題に関する分科会

- ① 「新領域セキュリティの諸課題に関する分科会」「米国・既存秩序の動揺に関する分科会」
合同会合

【日時】

2022年8月4日(木)13:00～15:00

【会議形式】

対面(東京大学先端研)とオンライン(Zoom)の併用

【参加者／参加人数】

【概要(議論や対外発信の概要、成果)】

詳細は(3)「米国・既存秩序の動揺に関する分科会」①第1回会合を参照。

- ② 国家安全保障戦略改訂に向けた提言

【日時】

2022年10月31日(月)

【概要】

「東京大学創発戦略研究オープンラボ(ROLES)有志」の名で、「新領域セキュリティの諸課題に関する分科会」で取りまとめた政策提言「国家安全保障戦略改訂に向けた提言」を発表。

【提言】

提言1 「総合・統合・融合防衛力」に基づいた対処・抑止能力の強靱化

提言2 国際的な安全保障協力体制の拡大と安全保障環境の改善

提言3 認知領域の安全保障強化に向けて

【執筆者】

飯塚 恵子 読売新聞編集委員

池田 有紀美 国連軍縮部政務官補

栗原 響子 日本国際問題研究所研究員

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師

小宮山 功一朗 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート客員所員

佐橋 亮 東京大学東洋文化研究所准教授

鈴木 一人 東京大学公共政策大学院教授

高森 雅和 株式会社 Dafna 代表取締役社長

中井 治郎 龍谷大学社会学部非常勤講師

中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授

松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

村野 将 ハドソン研究所研究員

山口 亮 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

③ 第1回会合

【日時】

2022 年 12 月 26 日(月)10:00～11:10

【会議形式】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】 14 名＋α

【報告者】

栗原響子 日本国際問題研究所研究員

【座長】

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師

【幹事・副幹事】

立田 由紀恵 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【委員】(五十音順、敬称略)

飯塚 恵子 読売新聞編集委員

合六 強 二松学舎大学国際政治経済学部准教授

小宮山 功一朗 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート客員所員

鈴木 一人 東京大学公共政策大学院教授

高森 雅和 株式会社 Dafna 代表取締役社長

中井 治郎 龍谷大学非常勤講師

中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授

松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

村野 将 ハドソン研究所研究員

山口 亮 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

【概要(議論や対外発信の概要、成果)】

栗原響子・日本国際問題研究所研究員(カナダ、マクドナルド・ローリエ・インスティテュートに出向中)より「偽情報戦争 ―“民主主義”の最前線より―」と題する報告があり活発な討論が行われた。

④ 第2回会合

【日時】

2023 年 1 月 13 日(金)13:00～15:00

【会議形式】

「新領域セキュリティの諸課題に関する分科会」「中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会」との合同会合

対面(東大先端研)とオンライン(Zoom)の併用

【参加者／参加人数】 8 名

【座長】

坂元 一哉 大阪大学名誉教授

【幹事・副幹事】

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【米国・既存秩序の動揺に関する分科会委員】(五十音順)

杉田 弘毅 共同通信社特別編集委員

鶴岡 路人 慶應義塾大学総合政策学部准教授

【新領域セキュリティの諸課題に関する分科会】(五十音順)

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師

合六 強 二松學舎大学国際政治経済学部准教授

【中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会】(五十音順)

東野 篤子 筑波大学人文社会系教授

【概要(議論や対外発信の概要、成果)】

「ウクライナ侵攻の展開と今後のシナリオ・プランニング」の議題のもと、小泉悠・新領域分科会座長より問題提起がおこなわれ、議題について出席者で自由に議論・検討、意見交換がおこなわれた。

⑤ 第3回会合

【日時】

2023 年 1 月 17 日(火) 10:00～11:10

【会議形式】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】 6 名 + α

【報告者】

高森 雅和 株式会社 Dafna 代表取締役社長

【座長】

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師

【幹事・副幹事】

鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【委員】(五十音順、敬称略)

合六 強 二松学舎大学国際政治経済学部准教授
中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授
松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

【概要(議論や对外発信の概要、成果)】

報告者である高森雅和・Dafna 代表取締役社長より「敵対的情報作戦に関する現状と実践」と題する報告があり、活発な討論が行われた。

⑥ 第4回会合

【日時】

2023年2月21日(火)10:00～11:10

【会議形式】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】 10名+α

【報告者】

飯塚恵子 読売新聞編集委員

【座長】

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師

【幹事・副幹事】

立田 由紀恵 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【委員】(五十音順、敬称略)

栗原響子 日本国際問題研究所研究員

小宮山功一朗 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート・客員所員

鈴木一人 東京大学公共政策大学院教授

高森 雅和 株式会社 Dafna 代表取締役社長

中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授

松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

【概要(議論や对外発信の概要、成果)】

報告者である飯塚恵子・読売新聞編集委員より「日本の「ファクト・チェック」の課題」と題する報告があり、活発な討論が行われた。

⑦ 第5回会合

【日時】

2023年3月9日(木)10:00～11:10

【会議形式】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】 11 名 + α

【報告者】

一田 和樹 作家(カナダ在住)

【座長】

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師

【幹事・副幹事】

立田 由紀恵 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【委員】(五十音順、敬称略)

栗原 響子 日本国際問題研究所研究員

小宮山 功一郎 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート・客員所員

鈴木 一人 東京大学公共政策大学院教授

高森 雅和 株式会社 Dafna 代表取締役社長

中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授

松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

村野 将 ハドソン研究所研究員

【概要(議論や対外発信の概要、成果)】

報告者である一田和樹氏より「デジタル影響工作—ウクライナ侵攻 1 年目の各種レポートから」と題する報告があり、活発な討論が行われた。

⑧ 第 6 回会合

【日時】

2023 年 3 月 28 日(火)10:00～11:10

【会議形式】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】 11 名 + α

【報告者】

中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授

【座長】

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師

【幹事・副幹事】

立田 由紀恵 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員
鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[委員] (五十音順、敬称略)

池田 有紀美 国連軍縮部政務官補
栞原 響子 日本国際問題研究所研究員
合六 強 二松學舎大学国際政治経済学部准教授
小宮山功一郎 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート・客員所員
鈴木 一人 東京大学公共政策大学院教授
高森 雅和 株式会社 Dafna 代表取締役社長
松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

【概要(議論や対外発信の概要、成果)】

報告者である中井遼北九州大学准教授より「バルト諸国の情報安全保障・戦略コミュニケーション」と題する報告があり、活発な討論が行われた。

(5) インド太平洋交通安全保障に関する分科会

① 第1回会合

【日時】

2022年5月11日(水)14:00~16:00

【場所】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】 15名

[座長]

山口 亮 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員] (五十音順、敬称略)

清水 愛子 パシフィック・フォーラム客員フェロー
Asyura Salleh Global Awareness & Impact Alliance 共同創設者
Christopher Lamont 東京国際大学准教授
Collin Koh Swee Lean ラジャラトナム国際学研究所リサーチ・フェロー
Jeffrey Ordaniel 東京国際大学専任講師
Shang-Su Wu ラブダン・アカデミー助教授

[オブザーバー]

坂元 一哉 大阪大学名誉教授(米国分科会)
宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授
遠藤 茂 外務省参与
大沼 和善 外務省国際協力局企画官

上野 裕大 外務省投資政策室長
深澤 留美 外務省
Yusuke Horiguchi 外務省主査

[幹事]

立田 由紀恵 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【概要(議論や対外発信の概要、成果)】

冒頭、山口座長より本分科会の今年度スケジュール等について説明がなされた後、山口座長から「Future of Transport」、清水委員から「The Future of Mobility: Challenges, Politics and Geopolitical Implications」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

② 第2回会合

【日時】

2022年7月6日(水)10:00～12:00

【場所】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】 11名

[座長]

山口 亮 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員](五十音順、敬称略)

清水 愛子 パシフィック・フォーラム客員フェロー

Asyura Salleh Global Awareness & Impact Alliance 共同創設者

Collin Koh Swee Lean ラジャラトナム国際学研究所リサーチ・フェロー

Jeffrey Ordaniel 東京国際大学専任講師

Shang-Su Wu ラブダン・アカデミー助教授

[オブザーバー]

片山 愛惟 外務省主査

難波 敦 外務省国内広報室長

森 有司 宇宙航空研究開発機構

横山 大樹 外務省主査

[幹事]

立田 由紀恵 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【概要(議論や対外発信の概要、成果)】

Wu 委員より「Rail Safety & Security」、Lamont 委員より「Emerging Technology and Civil Aviation Security」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

③ 第3回会合

【日時】

2022年9月16日(金)14:00～16:00

【場所】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】 18名

[座長]

山口 亮 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員](五十音順、敬称略)

Ariel Stenek 政策研究大学院大学博士課程在学

Asyura Salleh Global Awareness & Impact Alliance共同創設者

Christopher Lamont 東京国際大学准教授

Collin Koh Swee Lean ラジャラトナム国際学研究所リサーチ・フェロー

Jeffrey Ordaniel 東京国際大学専任講師

Shang-Su Wu ラブダン・アカデミー助教授

[オブザーバー]

遠藤 茂 外務省参与

尾崎 元美 防衛装備庁主任研究官

小野 益央 在ブリスベン総領事

坂元 一哉 大阪大学名誉教授

内藤 康司 外務省

深澤 留美 外務省

宮地 織恵 在マレーシア日本国大使館一等書記官

吉本 彩恵 在サンフランシスコ日本国総領事館専門調査員

Mizuki Kobayashi 外務省

Toru Maeda 在ブルネイ日本国大使

[幹事]

立田 由紀恵 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【概要(議論や対外発信の概要、成果)】

Ordaniel委員より「From Grey Zone to Black: US and Southeast Asian Responses to Crisis Scenarios in the South China Sea」、Stenek委員より「Rising Below the Radar: Assessing Singapore's Influence in the Indo-Pacific Maritime Domain Awareness Network」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で議論が行われた。

④ 第4回会合

【日時】

2023年1月16日(月)14:00～16:00

【場所】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】 25名

[座長]

山口 亮 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員](五十音順、敬称略)

Ariel Stenek 政策研究大学院大学博士課程在学

Asyura Salleh Global Awareness & Impact Alliance共同創設者

Christopher Lamont 東京国際大学准教授

Collin Koh Swee Lean ラジャラトナム国際学研究所リサーチ・フェロー

Jeffrey Ordaniel 東京国際大学専任講師

Shang-Su Wu ラブダン・アカデミー助教授

John Bradford

[オブザーバー]

遠藤 茂 外務省参与

小野 益央 外務省ブリスベン総領事

齋藤 宏彰 在マレーシア日本国大使館一等書記官

清水 悠史 外務省安全保障政策課主査

鈴木 均 JETRO アジア経済研究所上席主任研究員

半沢 優 在インドネシア日本国大使館一等書記官

平澤 悠大 在シンガポール日本国大使館一等書記官

山木戸 奨 在インド日本国大使館二等書記官

渡邊 真知子 外務省経済紛争対策官

Kotaro Katsuki 在スリランカ日本国大使館

Kunihiko Kawazu 在インド日本国大使館

Shingo Iguma ASEAN 日本政府代表部一等書記官

Ryosuke Tateishi JICA

Natsuki Yonezawa 在フィリピン日本国大使館二等書記官

[幹事]

立田 由紀恵 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【概要(議論や対外発信の概要、成果)】

山口座長からBradford新委員に関する紹介があったのち、Bradford委員より「QUAD Coast Guard Cooperation」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で議論が行われた。

⑤ 第5回会合

【日時】

2023年3月1日(水)10:00～12:00

【場所】

オンライン(Zoom)

【参加者／参加人数】 12名

[座長]

山口 亮 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員](五十音順、敬称略)

清水 愛子 パシフィック・フォーラム客員フェロー

Ariel Stenek 政策研究大学院大学博士課程在学

Asyura Salleh Global Awareness & Impact Alliance共同創設者

Christopher Lamont 東京国際大学准教授

Collin Koh Swee Lean ラジャラトナム国際学研究所リサーチ・フェロー

Jeffrey Ordaniel 東京国際大学専任講師

Shang-Su Wu ラブダン・アカデミー助教授

[オブザーバー]

寺岡 菜美 在チェンナイ日本国総領事館専門調査員

平野 克己 日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任研究員

松本 佐保 日本大学国際関係学部教授

[幹事]

立田 由紀恵 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【概要(議論や対外発信の概要、成果)】

山口座長より「Conflicts in East Asia and Their Impact on Transport Security」、Lamont委員より「Transport Security Development and Issues in the Indo-Pacific: Reflections on the Working Group Sessions」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で議論が行われた。

2. 諸外国シンクタンク・有識者との連携の強化

今年度は、以下のとおり諸外国シンクタンク・有識者との会合を開催した。

年月日	会合名／開催形式	登壇者(所属)	事前登録人数	参加人数
2022/4/12 (火)	講演 スティーブン・ウォルト『同盟の起源』邦訳 刊行記念ウェビナー／ オンライン	スティーブン・M・ウォルト (ハーバード大学教授)	420	459

2022/7/29 (金)	講演 「ロシア・ウクライナ 戦争が変えるヨーロッ パ国際秩序、日本の立 場」／対面	Guibourg DELAMOTTE (仏国立東洋言語文化学院准教 授 (INALCO)・東京カレッジ 客員准教授) 岩間陽子 (政策研究大学院大学教授)	-	不明
2022/9/15 (木)	セミナー ヘブライ語聖書集中講 義 (1)／ハイブリッ ド	Naphtali Shmuel Meshel (エルサレム・ヘブライ大学聖 書学科・比較宗教学科上級講 師)	42* *: 全9回 述べ人数	38
	セミナー ヘブライ語聖書集中講 義 (2)／ハイブリッ ド			34
	セミナー ヘブライ語聖書集中講 義 (3)／ハイブリッ ド			31
2022/9/22 (木)	セミナー ヘブライ語聖書集中講 義 (4)／ハイブリッ ド	Naphtali Shmuel Meshel (エルサレム・ヘブライ大学聖 書学科・比較宗教学科上級講 師)		36
	セミナー ヘブライ語聖書集中講 義 (5)／ハイブリッ ド			26
	セミナー ヘブライ語聖書集中講 義 (6)／ハイブリッ ド			22
2022/9/29 (木)	セミナー ヘブライ語聖書集中講 義 (7)／ハイブリッ ド	Naphtali Shmuel Meshel (エルサレム・ヘブライ大学聖 書学科・比較宗教学科上級講 師)		30
	セミナー ヘブライ語聖書集中講 義 (8)／ハイブリッ ド			38
	セミナー ヘブライ語聖書集中講 義 (9)／ハイブリッ ド			23
2022/10/25	シンポジウム 「日本のグローバル戦 略と中東」テルアビブ 大学／対面、テルアビ ブで開催	Ori Sela (テルアビブ大学東アジア研究 学) 岩間陽子 (政策研究大学院大学教授) Brandon Friedman (テルアビブ大学医学博士) 池内 恵 (東京大学先端科学技術研究セ ンター教授) Gedalia Afterman (アバ・エバン国際外交研究 所、ライヒマン大学) Galia Lavi (国家安全保障研究所)	-	不明

		Liora Hendelman-Baavur (テルアビブ大学イラン研究同盟センター)		
2022/12/5 (月)	シンポジウム 中東・インド太平洋地域安全保障に関する先端研安全保障ワークショップ① 10:30-12:00/対面	Sayed Ghoneim (グローバル安全保障防衛問題研究所(IGSDA)シニアストラテジスト兼会長) Mohamed Saieed (サイバーセキュリティ専門家、グローバルセキュリティ防衛問題研究所(IGSDA)) Ahmed Ragab Abdelghafar (危機管理・国土安全保障コンサルタント&グローバル安全保障・防衛問題担当 (IGSDA)業務担当者) Ahmed Adel Abdelaal (グローバル安全保障・防衛問題研究所 (IGSDA))	17	16
2022/12/5 (月)	シンポジウム 中東・インド太平洋地域安全保障に関する先端研安全保障ワークショップ② 13:30-15:30/対面	Jagannath PANDA (ストックホルム安全保障開発政策研究所(ISDP)南アジア・インド太平洋問題センター(SCSA-IPA)所長) Christopher LAMONT (東京国際大学国際戦略研究所E-Track プログラム副学部長) 山口 亮 (東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	11	11
2022/12/7 (水)	ワークショップ RCAST-HUFS Security Workshop/対面	Daewon Ohn (HUFS GSIAS) 池内 恵 (東京大学先端科学技術研究センター教授)	-	12
2022/12/22 (木)	シンポジウム 国際ウェビナー「『安全保障のトライアングル』—ロシアによるウクライナ侵攻の中東と中国への影響」/オンライン	Alexander Gabuev (カーネギー国際平和財団シニア・フェロー) Yoel Guzansky (テルアビブ大学国家安全保障研究所 (INSS) 上席研究員) Saban Kardas (カタール大学湾岸研究プログラム研究教授/TOBB 経済工科大学教授)	-	352
2023/1/7 (土)	セミナー 先端研セキュリティセミナー「ディアスポラから主権国家へ:ユダヤ国家がユダヤ人性に与える影響」/対面	Yossi Shain (テルアビブ大学名誉教授)	-	19
2023/3/3 (金)	講演 公開ウェビナー「進化する日米同盟課題:今後の課題と台湾有事」/オンライン	Zack Cooper (アメリカン・エンタープライズ・インスティテュート、シニア・フェロー) 山口 亮	138	85

		(東京大学先端科学技術研究センター特任助教)		
2023/3/12 (日)	講演 ウェビナー「技術の本質は人間の本質である(か)」／オンライン	Yochai Ataria (テルハイ・カレッジ)	102	71
2023/3/30 (木)	セミナー イラン情勢に関する先端研安全保障セミナー／対面	Ali Vaez (国際危機グループ) 鈴木 一人 (東京大学大学院公共政策大学院教授/国際文化会館地経研究所所長)	-	13

このほか、2022 年 12 月 13 日に、UAE アブダビで、ROLES 代表の池内恵教授が、アブダビのアンワル・ガルガーシュ外交アカデミーで、同アカデミー及びドバイ公共政策調査センター(B'huth)及びイスラエルのライヒマン大学外交国際関係研究所との共催で、日・湾岸・イスラエルの「三極」による非公開ラウンドテーブル“Prospects of the Japan-Gulf-Israel Trilateral Cooperation”を開催した(<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/news/20221213>)。

こうした会合に加え、2022 年 7 月に、米国そしてインド太平洋地域における代表的な安全保障政策専門であるパシフィック・フォーラム・インターナショナルと学術交流覚書(MOU)を締結した。本 MOU を通じ、ROLES とパシフィック・フォーラム・インターナショナルは共同研究会議・講義・セミナー・シンポジウムの開催、客員研究員の相互派遣、共著・共編論文集の刊行などを通じて、国際的に発信する。

3. 日本の主張の世界への積極的発信と国際世論形成への参画

(1) 国際会議の開催

今年度は「2 諸外国シンクタンク・有識者との連携の強化」に記載の通りの非公開・公開かつオンライン／対面／ハイブリッド、かつ国内外にて、国際会合(ウェビナー／セミナー／ワークショップ／講演会)を開催した。

そのうち、2022 年 10 月 25 日にイスラエル・ヘルツリヤのライヒマン大学アバ・エバン外交研究所と東大先端研の共催により開催された国際会議「極東と中東の狭間で：大国間競争時代における日本とイスラエル、そして米国の役割」については、その報告概要がライヒマン大学アバ・エバン外交研究所のウェブサイトに掲載されていた(<https://www.abbaeban.runi.ac.il/post/abba-e-ban-roundtable-japan-israel>)

Embassy of Japan in Israel and Japanese academia intended to enhance bilateral relations between the two countries and establish frameworks for multilateral regional and international collaborations.

Photos: Rami Sinai



(2) (ROLES, RCAST)ウェブサイトでの英語でのシンポジウム・セミナーの広報の実施

上記 2.に記載した各種シンポジウム・セミナー等に関して、東京大学先端科学技術研究センターの英語版ウェブサイトにて告知した。

URL : <https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/en/news/events/index.html>

東京大学 先端科学技術研究センター
Research Center for Advanced Science and Technology
The University of Tokyo

[Skip to content](#)
[Faculty Members](#)
[English](#)
[日本語](#)

[About RCAST](#)
[Research](#)
[Collaborations](#)
[Education](#)
[NEWS](#)

[HOME](#) / [NEWS](#) / [Events](#) / Events 2022

[NEWS](#)
[EVENTS](#)
[Activity Reports](#)
[Jobs](#)

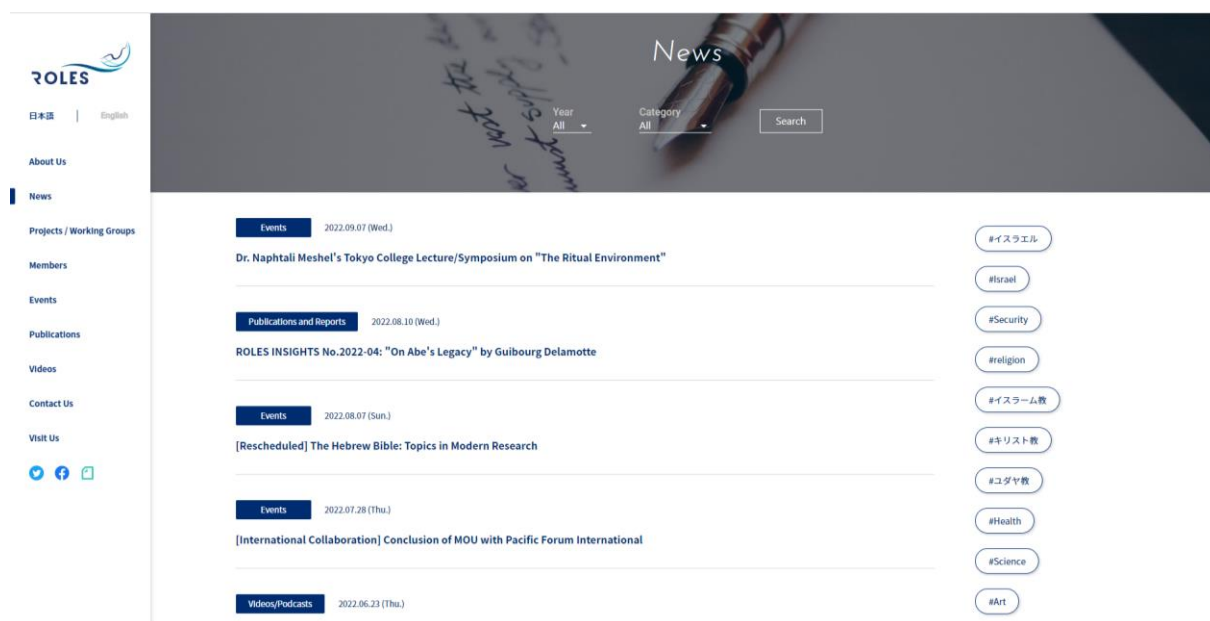
Events 2022

2023 [Select](#)

October 22, 2022 - December 18, 2022 Public Viewings of Chair-Type Tactile Presentation Device at Tokyo Skytree Town® Venue : Tokyo Skytree Town® Campus, Chiba Institute of Technology	September 29, 2022 10:30 - 16:30 Intensive Course on the Hebrew Bible by Dr. Nahtali Shmuel Meshel (Part C) Venue : Komaba II Campus, Building 3, Mezzanine level, seminar room	September 28, 2022 17:00 - 18:00 Registration form for Briefing session for 2022 - Part I Cross Talk - Venue : KOMABA Research Campus, The University of Tokyo and Online (Zoom meeting)
September 22, 2022 10:30 - 16:30	September 15, 2022 10:30 - 16:30	August 24, 2022 13:30 - 15:30

さらに、本補助金で立ち上げた大学内シンクタンク ROLES (詳細は 4. (1)を参照)ウェブサイト英語版

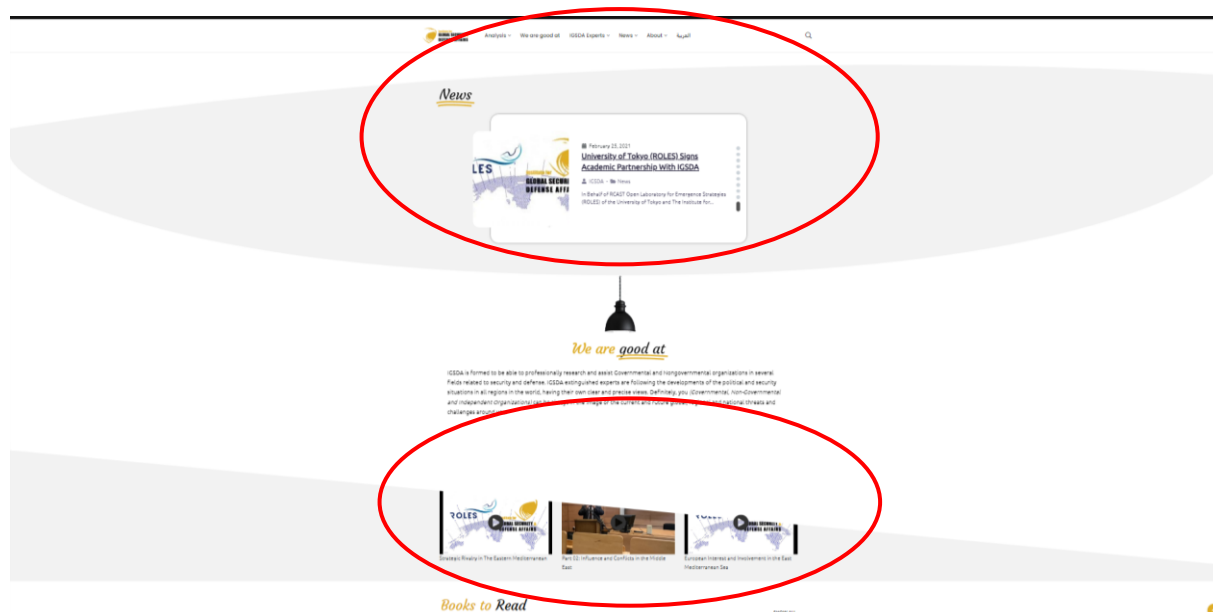
でも英語版のイベント広報の英語版を掲載しているが(下図参照)、次年度に英語圏の読者にとって使いやすいユーザーインターフェースに改修し、より積極的に英語による広報を行っていく。



URL: <https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/en/events>

さらに、2021 年 2 月に学術協定を締結した UAE シンクタンク IGSDA ウェブサイトには、ROLES との共催事業に関する動画の掲載や、書籍の紹介がウェブサイトで開催されている(下図参照)。

URL: <https://igsda.org/>



(3) 英語チャンネル(ROLES Talk)の実施

昨年度から海外シンクタンクや有識者との連携という観点に加え、ROLES の名前や知見を対外発信すべく、「ROLES Talk」という動画コーナーを設け、時宜にかなったテーマについて、しかるべく海外の有識者と議論し、その模様を動画として掲載した。その概要、視聴回数は以下のとおりである。

日付	タイトル	登壇者・講演者	視聴数
2022/5/12	Episode 008: Global Security Challenges Today	クリストファー・ラモント (@ck_lamont 東京国際大学国際戦略研究所准教授)	425 回
		山口 亮 (@tigerrhy 東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	
2022/6/23	Episode 009: Japan's National Security Strategy and Defense Planning	クリストファー・ラモント (@ck_lamont 東京国際大学国際戦略研究所准教授)	396 回
		山口 亮 (@tigerrhy 東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	

(4) 公開イベントの英語動画の配信

今年度は、一般公開のウェビナー／講演会／シンポジウムにつき、英語での動画配信を積極的におこなった。また、日英同時通訳を導入したイベントのうち、講演「ロシア・ウクライナ戦争が変えるヨーロッパ国際秩序、日本の立場」については、日英双方での発信の重要性に鑑み、日本語と英語それぞれで配信した。それぞれの年度末時点での視聴回数は以下のとおりである。

日付 ※は掲載日	タイトル	登壇者・講演者	視聴数
2022/4/12 (火)	講演 スティーブン・ウォルト 『同盟の起源』邦訳刊行 記念ウェビナー	スティーブン・M・ウォルト (ハーバード大学教授)	2386 回
2022/4/30 (土) ※	公開ウェビナー「日米同盟の未来」展望と課題- (Shaping the Future of the Japan-US Alliance)	ザック・クーパー (アメリカン・エンタープライズ・インスティテュート、シニア・フェロー) 山口 亮 (東京大学先端科学技術研究センター特任助教、ROLES 研究主幹)	992 回
2022/8/25 (木)	講演「ロシア・ウクライナ戦争が変えるヨーロッパ国際秩序、日本の立場」(How the Russo-Ukrainian War is Changing European International Order: The Perspective from Japan)	Guibourg DELAMOTTE (仏国立東洋言語文化学院准教授 (INALCO) ・東京カレッジ客員准教授) 岩間陽子 (政策研究大学院大学教授)	349 回
2023/2/18 (土)	シンポジウム 国際ウェビナー「『安全保障のトライアングル』—ロシアによるウクライナ侵攻の中東と中国への影響 (The Great Security Triangle: Repercussions of the Russo-Ukrainian War on the Middle East and China)」	Alexander Gabuev (カーネギー国際平和財団シニア・フェロー) Yoel Guzansky (テルアビブ大学国家安全保障研究所 (INSS) 上席研究員) Saban Kardas (カタール大学湾岸研究プログラム研究教授/TOBB 経済工科大学教授)	478 回
2023/3/7		Zack Cooper	250 回

(火)	公開ウェビナー「進化する日米同盟課題：今後の課題と台湾有事」 (Webinar: “Future of the Japan-US Alliance: Prospects and Issues”)	(アメリカン・エンタープライズ・インスティテュート、シニア・フェロー)	
		山口 亮 (東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	

(5) 英語での刊行物の発信

昨年度発足させた英語でのコメンタリー「ROLES Insights」のほか、今年度は「ROLES Report」及び「ROLES Review」の英語版も発行し、以下のものを発足させ、山口座長、小泉座長を中心に、以下の6本を発表した。

作成日	刊行物タイトル	著者
2022-06-08	ROLES INSIGHTS No.2022-02: “New Developments in North Korea's Strike Capabilities” by Ryo Hinata-Yamaguchi	山口 亮
2022-06-18	ROLES INSIGHTS No.2022-03: “Emerging Technologies and Post-Pandemic Civil Aviation” by Christopher K. Lamont	Christopher K. Lamont
2022-08-10	ROLES INSIGHTS No.2022-04: “What Abe's Death Means for Japanese Politics: Japan has Lost a Compass and a Driving Force” by Guibourg Delamotte	Guibourg Delamotte
2022-08-25	ROLES INSIGHTS No.2022-05: “Next Step for Japan's Defense Planning: Enhancing Joint Readiness” by Ryo Hinata-Yamaguchi	山口 亮
2022-09-16	ROLES REPORT No.20 Masaaki OKAMOTO "Mushrooming Smart Cities in ASEAN Countries and the Risk of Unhealthy Multi-actor Competition"	岡本 正明
2022-11-04	『ROLES Review Vol.2』 (2022.9.30 発行)	ROLES
2022-11-17	ROLES INSIGHTS No.2022-06: "How Much More Can Russia Fight? Satellite Image Analysis of Spare Storage Equipment in the Eastern Military District of the Russian Armed Forces" by Yu Koizumi	小泉 悠
2023-03-29	ROLES INSIGHTS No.2023-01: "A Principled Approach to MDA in the Indo-Pacific"	Ariel Stenek

(6) 本研究会委員による英語(外国語)での発信実績(シンポジウム・セミナー)

日付	登壇者(敬称略)	報告題目(論題含む)	会議名	URL	開催機関
2022年5月22日	宮本 悟	Military Cooperation between North Korea and Iran within North Korea's Military Cooperation Policy toward Middle East	The Korean Peninsula and the Middle East at 60	https://ksf.co.il/events/the-korean-peninsula-and-the-middle-east-at-60	The Department of Asian Studies at the Hebrew University of Jerusalem

2022 年 6 月 27 日	山口亮	Defense Planning and Readiness of North Korea	Annual Korea Days Conference	なし	National Geospatial- Intelligence Agency (NGA)
2022 年 9 月 20 日	松田康博	—	Webinar Video + Report – Taiwan Tensions – Implications for China, the US, Japan and Europe, The Japan Society	https://www.japansociety.org.uk/newsitem?news=182&newscat=6	The Japan Society
2022 年 8 月 31 日	川島真	Xi Jinping Administration's Foreign Policy on the Ukraine “War” and Taiwan Straits	Wednesday Seminar	https://www.icsin.org/activity/show/wednesday-seminar-xi-jinping-administrations-foreign-policy-on-the-ukraine-war-and-taiwan-straits-31st-august-300pm-ist-zoom-webinar?fbclid=IwAR0Iop7fpSvYAxlpw4_lizyGhBKjG4-UoPMjk4m4nykHbLd7kDAaPsvJSJM	The Institute of Chinese Studies in India
2022 年 9 月 28 日	川島真	—	21JPSI Special Virtual Event: “Japan-China Relations after 50 Years (1972- 2022)... Past, Present, and Future”	https://events.iu.edu/jpsi/event/578550-21jpsi-special-virtual-event-japan-china-relations?fbclid=IwAR25eiViyRBnnP-7kUOhqHxU-7MKBMZzDQE1T697HkcDnkVuSoPngbuvqAA	Indiana University / University of Tokyo
2022 年 10 月 25 日	池内恵	Panel Discussion” Middle East Pivot to Asia and Asia's Pivot to the	公開講演会及 びシンポジウム 「日本のグロー バル戦略と中東 (Japan's Global Strategy and the	https://roles.cast.u-tokyo.ac.jp/event/20221025en	テルアビブ大学モシ ェダヤン中東アフリカ 研究センター (MDC) と ROLES の共催

		Middle East での討論に 参加	Middle East)」		
2022 年 11 月 11 日	池内恵	—	シンポジウム 「バイデン政権 期における米国 の国際協力・同 盟へのアプロー チ: 日本とトルコ の視点 (The US Approach to International Cooperation and Alliances during the Biden Administration: Japanese and Turkish Perspectives)	http://turkeyjapan.org/index.php/en/component/content/article/103-videos/331-japan-tuerkiye-dialogue-in-times-of-global-transitionproject-report-launching?Itemid=596	TOBB 経済工科大学 (トルコ)
2022 年 11 月 23 日	山口亮	The Ukraine War and Future: Implications for East Asia	Future Conflicts – Lessons Learned from Ukraine	https://www.rsis.edu.sg/rsis-publication/ids/future-conflicts-lessons-learned-from-ukraine/#.ZDKEgezP321	S. Rajaratnam School of International Studies (RSIS)
2022 年 12 月 07 日	山口亮	Challenges for Japan’s Strategic and Defense Planning	2022 RCAST- HUFs Security Workshop “Regional States-centered Minilateral Security Cooperation in the Indo-Pacific – Examining an Alternative to Sino- and US- centric Security Order”	https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/en/event/20221127	ROLES-Hankuk University of Foreign Studies
2022 年 12 月 13 日	池内恵	—	A Closed Roundtable: Japan-Gulf- Israel Trilateral Discussion “Prospects of the Japan-Gulf- Israel Trilateral Cooperation”	https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/news/20221213	Anwar Gargash Diplomatic Academy, RCAST Open Laboratory for Emergence Strategies (ROLES) of the University of Tokyo, Dubai Public Policy Research Centre (B’huth) and The Abba Eban Institute for Diplomatic & Foreign Relations of Reichman University
2022 年 12	小泉悠	Repercussion	The Great	https://roles.r	ROLES

月 22 日		s of the Russo-Ukrainian War: A View from Tokyo	Security Triangle: Repercussions of the Russo-Ukrainian War on the Middle East and China	cast.u-tokyo.ac.jp/event/20221222en	
2023 年 1 月 9 日	池内恵	紅海をインド太平洋ビジョンに統合する	講演会「極東から中東へ: 紅海に焦点を当てた地域ダイナミズム (From the Far East to the Middle East: A Japanese View on Regional Dynamics with a Focus on the Red Sea)」	https://auc-connect.aucegypt.edu/PUBLICEV/rsvp_boot?id=300083694	カイロ・アメリカン大学 (AUC: American University in Cairo) グローバル問題・公共政策大学院 (School of Global Affairs and Public Policy)
2023 年 1 月 10 日	小泉悠	Russo-Ukrainian War and Japan's Security (	Military Analysis of the Russo-Ukrainian War	なし	ROLES 及び東京大学法学部松里公孝研究室
2023 年 2 月 16 日	川島真	New Directions in Japan's Foreign Policy	Stockholm Seminar on Japan	https://www.ui.se/english/events/previous/2023/february/new-directions-in-japans-foreign-policy/	The Swedish Institute of International Affairs
2023 年 3 月 24 日	山口亮	Transport Security	US-Japan-Republic of Korea Trilateral Next-Generation Leaders Dialogue	https://pacforum.org/calendar-of-events	Pacific Forum-ROLES

(7) メディア・書籍での発信実績

事業総括者の池内教授、副事業総括者の小泉講師、山口特任助教による日本語・英語・アラビア語での発信実績は以下のとおりである。

①池内教授

日付	媒体	番組名・タイトル等
2022 年 4 月 6 日	Nikkei Asia	<u>Location, hard power underpin Turkey's geopolitical renaissance</u>
2022 年 4 月 24 日	信濃毎日新聞	〈多思彩々〉「西側」遠巻きに眺める国々 池内恵（東京大先端科学技術研究センター教授）
2022 年 5 月	公研	ブリマコフの囁き ポスト冷戦期を乱す「並行世界仮説」
2022 年 8 月 7 日	信濃毎日新聞	グローバル・ジハードの終わり
2022 年 8 月 27 日	フォーサイト	東地中海ガス田をめぐる虚実皮膜・再論
2022 年 8 月 28 日	フォーサイト	イスラエルのガantz国防相が米国訪問の帰路に来日
2022 年 8 月 31 日	フォーサイト	ムハンマド皇太子の変わらぬ資質と代わる環境
2022 年 11 月	公研	宗教都市エルサレム 岩間陽子・池内恵 エルサレムで振り返る 2022 年の世界
2022 年 11 月 6 日	信濃毎日新聞	内向き日本、外に開かねば
2022 年 11 月 18 日	Sharq News (アラビア語国際衛星放送)	Al-Madar に出演し、日本の外交的立場を説明
2022 年 12 月	公研	「対話」
2022 年 12 月 31 日	フォーサイト	ネタニヤフは分裂するイスラエル政界で「余人をもって代え難し」
2022 年 12 月 31 日	フォーサイト	2022 年の回顧：グローバルサウスと「価値を共有」した中東主要国
2023 年 1 月 1 日	Asharq News	池内恵「新しい重心：インド太平洋地域に何が起こっているのか？」
2023 年 3 月 5 日	信濃毎日新聞	地域問題対処へ有志国結集
2023 年 3 月 15 日	Al-Majalla	Su ‘uba al-Talaq ma ‘a Amrika （「アメリカ離れ」の困難）
2023 年 3 月 16 日	Al Majalla	<u>Pacifist Japan grows more assertive amid Russia, China adventurism</u>

②小泉講師

日付	媒体	番組名・タイトル等
2022 年 4 月 2 日	テレビ朝日	テレビ朝日系 ANN「真相は... 「ウクライナが空爆」とロシアが主張する思惑」
2022 年 4 月 3 日	TBS	TBS 系サンデーモーニング出演
2022 年 4 月 3 日	スポニチ	TBS 系サンデーモーニング 『小泉悠氏 米政府「プーチン氏に誤情報」分析に「ロシア軍が不手際な戦争を続けているのは...」』
2022 年 4 月 3 日	スポニチ	TBS 系サンデーモーニング 『小泉悠氏 ロシアの侵攻に「停戦交渉が進んでいることをもって、光が見えて来たなどはまだ言えない」』
2022 年 4 月 3 日	bizSPA!フレッシュ	プーチンは「復縁を迫る DV 夫」。今さら聞けない“ウクライナ情勢”をゼロから解説
2022 年 4 月 3 日	テレビ朝日	【日曜スクープ】ウクライナ東部攻撃激化...人道危機

2022 年 4 月 4 日	TBS	報道 1930 「ロシア撤退地で“大虐殺” ウクライナの息の根を止める作戦か」
2022 年 4 月 5 日	文化放送	大竹まことゴールデンラジオ（文化放送）
2022 年 4 月 5 日	文化放送	小泉悠が分析「今後ロシアが核を使う可能性」（番組レポ）
2022 年 4 月 6 日	bizSPA!フレッシュ	核兵器がロシアの最終手段か。「ウクライナ侵攻」で考えられる2通りのシナリオ
2022 年 4 月 6 日	BS 日テレ	【ウクライナ情勢】ロシア“核兵器使用シナリオ”の現実性は？【深層 NEWS】
2022 年 4 月 6 日	読売新聞オンライン	「深層NEWS」ロシアが核使用の可能性「欧米の軍事介入が想定される時にあり得る」
2022 年 4 月 6 日	PHP 研究所	Voice 2022 年 5 月号 『プーチンの誤算と「大粛清」の危険』寄稿
2022 年 4 月 7 日	BS 日テレ	【ウクライナ情勢】ロシア“核兵器使用シナリオ”の現実性は？【深層 NEWS】
2022 年 4 月 8 日	文春オンライン	【文藝春秋 2022 年 5 月特別号寄稿】＜徹底分析＞プーチンの軍事戦略～もっとも陰惨なシナリオとは？～
2022 年 4 月 8 日	公研	【『公研』2022 年 4 月号「緊急対話」】「プーチンの戦争」が揺らす世界の秩序【鈴木一人】【奈良岡聡智】【細谷雄一】【小泉 悠】
2022 年 4 月 8 日	FNN プライムオンライン	ウクライナ侵攻の根底にあるロシアの「冷戦期のままの精神性」…畔蒜泰助氏・小泉悠氏と議論（BS フジ LIVE「プライムニュース」4 月 7 日放送）
2022 年 4 月 10 日	文藝春秋 digital	小泉悠 徹底分析「プーチンの軍事戦略」もっとも陰惨なシナリオとは？
2022 年 4 月 10 日	NHK プラス	日曜討論「相次ぐ市民殺害 深刻化するウクライナ危機」（見逃し配信・4/17(日) 午前 10:00 まで）
2022 年 4 月 11 日	週刊現代	プーチン、ついに“自滅”か…戦費「3 兆円」ムダ遣いで、これからロシアが辿る「壮絶な末路」（週刊現代）
2022 年 4 月 13 日	BS 日テレ	「深層NEWS」#2140「ロシア軍が毒物使用か 善戦支える衛星技術&切り札？ドローン部隊」（出演）
2022 年 4 月 14 日	週刊 FLASH	東大専任講師・小泉悠氏が絶賛… ゼレンスキーがロシアを翻弄する“毛沢東”式抗戦
2022 年 4 月 14 日	読売新聞オンライン	「深層NEWS」ウクライナ軍のドローン戦術を議論…鈴木教授「画像を共有、重要情報をやりとり」
2022 年 4 月 14 日	TBS	#報道 1930「マリウポリ兵士投降はプーチン氏が5月9日にこだわる“計算”」
2022 年 4 月 14 日	夕刊フジ	ZAKZAK “情報戦惨敗、ロシア、大虐殺隠蔽か 「鉄のカーテン」が災い、政権中枢に情報届かない皮肉 FSB大粛清のプーチン氏は「ネット使わないとも」識者
2022 年 4 月 15 日	朝日新聞デジタル	沈没した巡洋艦「モスクワ」 撃沈が事実なら「作戦計画に相当影響」
2022 年 4 月 15 日	毎日新聞	旗艦沈没「ロシアの苦戦、印象与える」 東京大・小泉悠専任講師
2022 年 4 月 15 日	笹川平和財団	「ウクライナ戦争と『核の忘却』の終わりの時代」座談会シリーズ 第1回：ウクライナ戦争に見る「核の忘却」の終わり
2022 年 4 月 16 日	北海道新聞 電子版	＜シリーズ評論・ウクライナ侵攻⑩＞自らの手を縛る軍事作戦 北海道侵攻、理由見当たらない 東大先端科学技術研究センター専任講師 小泉悠氏
2022 年 4 月 16 日	時事ドットコム	忍び寄る先制核使用の恐怖 プーチン大統領は本気なのか
2022 年 4 月 17 日	テレビ朝日	【日曜スクープ】ウクライナに迫る“大規模”戦車戦
2022 年 4 月 20 日	FNN プライムオンライン	ウクライナ東部攻防に西側は支援増強 ロシアの動向は…長期化する侵攻を東野篤子氏・小泉悠氏と分析（BS フジ LIVE「プライムニュース」4 月 18 日放送）

2022 年 4 月 22 日	TBS	#報道 1930「ロシア正教トップが元 KGB? 侵攻と信仰の”ただならぬ”仲」
2022 年 4 月 28 日	東洋経済 ONLINE	「ルールを決められると破りたい」ロシア人の本音
2022 年 4 月 28 日	Newsweek Japan	【河東哲夫×小泉悠】いま注目は「春の徴兵」、ロシア「失敗」の戦略的・世界観的要因を読み解く
2022 年 4 月 28 日	Newsweek Japan	【緊急対談 河東哲夫×小泉悠】ウクライナ戦争 その真実と今後の展開（前編／全 3 回）※公開動画
2022 年 4 月 28 日	Newsweek Japan	【緊急対談 河東哲夫×小泉悠】ウクライナ戦争 その真実と今後の展開（後編／全 3 回）
2022 年 4 月 28 日	文藝春秋 digital	「ロシアの核と世界秩序のリアリズム」東浩紀と小泉悠が〈戦争〉と〈感染症〉に直面する人類に見た“理性の限界”
2022 年 5 月 7 日	BS テレ東	日経プラス 9 サタデー どうなる? 「5 月 9 日」と「その後」のウクライナ情勢（出演）
2022 年 5 月 9 日	TBS	#報道 1930「米国を名指しも“成果”触れず 演説に見るプーチン氏の“今後”」
2022 年 5 月 9 日	テレビ朝日	スーパー J チャンネル【解説】規模縮小...軍事パレードからロシア軍の現状を読み解く
2022 年 5 月 9 日	テレビ朝日	報道ステーション「大量破壊兵器の使用踏み切るリスクも」“プーチン演説”で今後の戦況は?
2022 年 5 月 9 日	NEWS ポストセブン	ロシアのウクライナ侵攻「侵略の成功」か「核使用」か...2 つの最悪シナリオ
2022 年 5 月 9 日	新潮社 Foresight	【緊急対談】ロシア軍「不可解な作戦」から見えるプーチンの本音（上）：高橋杉雄, 小泉悠
2022 年 5 月 9 日	新潮社 Foresight	【緊急対談】ロシア軍「不可解な作戦」から見えるプーチンの本音（下）：高橋杉雄, 小泉悠
2022 年 5 月 10 日	niconico 生放送	戦争について考える生放送 今こそ戦争について、考えよう
2022 年 5 月 12 日	FNN プライムオンライン	プライムニュース『ウクライナ侵攻の行方 高橋杉雄の戦略分析 & 小泉悠の露軍実力検証』【前編】
2022 年 5 月 12 日	FNN プライムオンライン	プライムニュース『ウクライナ侵攻の行方 高橋杉雄の戦略分析 & 小泉悠の露軍実力検証』【後編】
2022 年 5 月 12 日	文藝春秋 digital	日米同盟 vs. 中・露・北朝鮮 緊急シミュレーション 山下裕貴×阿南友亮×小泉悠×古川勝久 総力特集 誰のための戦争か? 第一章 ウクライナ戦争で笑うのは誰か
2022 年 5 月 12 日	文藝春秋 digital	日米同盟 vs. 中・露・北朝鮮 緊急シミュレーション 山下裕貴×阿南友亮×小泉悠×古川勝久 総力特集 誰のための戦争か? 第二章 日本列島が戦場になる日
2022 年 5 月 12 日	文藝春秋 digital	日米同盟 vs. 中・露・北朝鮮 緊急シミュレーション 山下裕貴×阿南友亮×小泉悠×古川勝久 総力特集 誰のための戦争か? 第三章 欧州の「平和ボケ」から日本は学べ
2022 年 5 月 13 日	日経 BOOKPLUS	第 1 回 小泉悠 ウクライナの穀物が標的? 核と生物兵器の危機再び
2022 年 5 月 15 日	文化放送	【田村淳の NewsCLUB】ゲスト:小泉悠さん（2022 年 5 月 14 日後半）
2022 年 5 月 15 日	テレ朝 NEWS	北方領土「史上初」戦勝パレードに“未確認”特殊部隊 ロシアの思惑は? 小泉悠氏解説
2022 年 5 月 15 日	夕刊フジ	ZAKZAK 消えた軍参謀総長、ロシア作戦失敗で仲間割れか 楽観報告の上に苦戦でプーチン氏激怒、F S B を「粛清」 G R U に権限移行で戦況に変化は?
2022 年 5 月 15 日	TBS	サンデーモーニング プーチンの誤算 戦勝記念日でウクライナ侵攻正当化 ロシア国内では反戦の動きも（出演）
2022 年 5 月 16 日	YouTube	【静岡県立大学ジャーナリズム公開講座 第 9 期第 2 回映像】ロシア・ウクライナ戦争と日本
2022 年 5 月 16 日	日経 BOOKPLUS	第 2 回 小泉悠 戦争のできない 21 世紀にロシアが始めた「古い」戦争

2022年5月17日	日経BOOKPLUS	第3回 小泉悠 いつの時代も戦争の形態は一つだけではなかった
2022年5月18日	TBS	#報道1930 戦車からエンジン盗難も... 兵器不足でロシアの攻撃が止まる日
2022年5月18日	日経BOOKPLUS	第4回 小泉悠 「いいね！」が勝敗左右 情報戦で優位のウクライナ
2022年5月19日	東洋経済ONLINE	日本人がよく知らないロシア人の意外な「食生活」 前回のウクライナ危機で食品の質が劇的に向上
2022年5月19日	産経新聞	【転換・日本防衛】③サイバー防衛能力 SNSの攻撃、どう防ぐか
2022年5月19日	NHK	【解説】ロシアの戦争遂行能力 いつまで軍事侵攻続けられるか カネと武器で見る・ニュースウォッチ9
2022年5月20日	交詢雑誌 令和四年五月号(会報誌)	常例午餐会講演録「第二次ウクライナ危機の背景を読み解く」(3月25日開催常例午餐会講演要旨)
2022年5月21日	文藝春秋digital	【フル動画】小泉悠×片渕須直 対談「『この世界の片隅に』から“ウクライナ”を考える」(有料記事)
2022年5月21日	文藝春秋digital	「ロシアを巡る“虚”と“実”」小泉悠と砂川文次が明かす“自衛隊とロシア軍のリアル”
2022年5月25日	テレビ朝日	【報道ステーション】「ウクライナの運命が決まりそうだ」東部“天王山”の戦い 今後の戦況は...専門家解説
2022年5月26日	創発プラットフォーム	【御厨政談】TVでは語れないウクライナ情勢 Part4「経済制裁の勝者は？」#御厨貴 #三浦瑠麗 #小泉悠
2022年5月29日	東洋経済ONLINE	歪んだ権力構造、「暗い繊細さ」で回るロシア社会 話題の本 著者に聞く
2022年5月29日	テレ朝NEWS	【日曜スクープ】ロシア軍猛攻・・・ウクライナ重要局面
2022年5月29日	テレ朝NEWS	【日曜スクープ】黒海封鎖で世界的食糧不足の危機
2022年5月30日	PRESIDENT Online	最初の動機は「愛国」だった...ロシアのために立ち上がったプーチンが「独裁者」に成り果てたワケ「民衆は常に押さえつけておかないと、国が崩壊してしまう」
2022年6月3日	BS テレ東	日経ニュース プラス9 ウクライナ危機でみえた「ハイブリッド戦争」の深層(出演)
2022年6月5日	TBS	【サンデーモーニング】ウクライナ東部をめぐる攻防 国際社会の制裁は(出演)
2022年6月8日	FNN プライムオンライン	『ロシア軍が焦土作戦か プーチン“脅し”真意 高橋杉雄×小泉悠対論』プライムニュース(出演)
2022年6月11日	日本経済新聞	(短評)『ロシア点描』小泉悠著(有料記事)
2022年6月12日	東京新聞	<書評>『ロシア点描 まちかどから見るプーチン帝国の素顔』小泉悠 著
2022年6月14日	新潮社 Foresight	【緊急対談第2弾】高橋杉雄×小泉悠 ウクライナ戦争100日の「天王山」(上) : 高橋杉雄,小泉悠
2022年6月15日	新潮社 Foresight	【緊急対談第2弾】高橋杉雄×小泉悠 ウクライナ戦争100日の「天王山」(下) : 高橋杉雄,小泉悠
2022年6月15日	TBS	#報道1930 反転攻勢へ 遅れる武器供与 欧米に「ゼレンスキー疲れ」か
2022年6月17日	NEWS ポストセブン	【書評】『ロシア点描』 花好きで親切で日本びいきなロシア人の素顔に踏み込む
2022年6月19日	NHK	「デジタル・ウクライナ:衛星が変えた戦争」・BS1 スペシャル
2022年6月19日	NHK WORLD	Digital Eye Ukraine: The New Satellite War
2022年6月19日	朝日新聞	挫折と確執 その先に見つけた転職(「GLOBE」記事掲載)

2022 年 6 月 20 日	TBS	#報道 1930 ウクライナで浮き彫り 日本にない？国家安全保障の“哲学”
2022 年 6 月 20 日	TBS	ニッポンの安全保障には“哲学が”必要だ 小泉悠氏が一国民として考えることとは【報道 1930】
2022 年 6 月 21 日	週刊文春	"週刊文春 WOMAN vol.14 2022 年夏号(文春ムック) 特集 戦争入門—戦争に慣れないために ヤマザキマリ × 小泉悠 「独裁」と「戦争」の世界史を語る "
2022 年 6 月 21 日	毎日新聞	SUNDAY LIBRARY：木村 衣有子・評『ロシア点描』小泉悠・著(有料記事)
2022 年 6 月 22 日	ニッポン放送	【公式】2022/6/22(水) ニッポン放送「幸坊治郎ズームそこまで言うか！」▼立てこもり「海外だと射殺」▼スペイン 2030 年オリパラ招致見送り▼小泉悠さんが最新ウクライナ情勢を解説▼食料自給率
2022 年 6 月 24 日	BS テレ東	日経ニュース プラス 9【中国・ロシアが対西側諸国で結束!? それぞれの真の思惑は...】(出演)
2022 年 6 月 24 日	文藝春秋 digital	【フル動画】小泉悠×高橋杉雄「ウクライナ侵攻『超マニアック』戦場・戦術解説」
2022 年 6 月 24 日	南日本新聞	南日本政経懇話会 「支配は当然」野望背景(朝刊 4 面掲載)
2022 年 6 月 26 日	山梨日日新聞	22 参院選やまなし 私の見方〈2〉防衛拡充 必要性示して(朝刊 1 面)
2022 年 6 月 26 日	読売新聞	著者来店 「ロシア点描」小泉悠さん 不可解な国 素顔知って(朝刊 14 面)
2022 年 6 月 27 日	週刊文春	「火力調整会議が荒れるんです」「ロシアの尖兵中隊って強いな」小泉悠と元自衛官・作家の砂川文次が“ロシア軍のリアル”を語る(「文藝春秋」2022 年 7 月号より一部公開)
2022 年 6 月 28 日	日本経済新聞	参議院選挙 防衛政策、川島真氏「ハイブリッド戦の想定必要」
2022 年 7 月 1 日	読売新聞	[著者来店] 「ロシア点描」小泉悠さん...不可解な国 素顔知って
2022 年 7 月 2 日	文春オンライン	「プーチンの支持率の高さには『マフィアの側面』がある」プーチンが利用してきたロシア国民の“不信感”の正体
2022 年 7 月 3 日	読売テレビ	そこまで言って委員会 NP【2022 年も折り返し！ことし後半を大予言！】(出演)
2022 年 7 月 5 日	FNN プライムオンライン	プライムニュース『なぜ？プーチン支持増 ロシア国民の本音とは 小泉悠×佐々木正明ほか』(出演)
2022 年 7 月 6 日	産経新聞	中露情報戦巡り 専門家聴取 政府、安保戦略改定向け
2022 年 7 月 6 日	産経新聞	国民の自衛官に 8 人 2 部隊 不発弾処理の専門家ら
2022 年 7 月 12 日	文藝春秋	週刊文春エンタ+ ウクライナの「さらにいくつもの片隅に」特別対談 片渕須直×小泉悠
2022 年 7 月 13 日	TBS	#報道 1930 ウクライナ“消耗戦” 南部奪還命令の背景は？
2022 年 7 月 30 日	AERA dot.	ロシアの街や人々の素顔がわかるガイドブックに 軍事専門家がロシア市民や文化を解説
2022 年 8 月 1 日	FNN プライムオンライン	『畔蒜&小泉が徹底分析 ウクライナの反撃攻勢 ガス供給減と穀物輸出』【前編】
2022 年 8 月 1 日	FNN プライムオンライン	『畔蒜&小泉が徹底分析 ウクライナの反撃攻勢 ガス供給減と穀物輸出』【後編】
2022 年 8 月 2 日	TBS	#報道 1930 ペロシ氏今夜にも台湾訪問か 中国反発で対抗措置も？
2022 年 8 月 3 日	早川書房	【8/3(水) 発売】見えない「サイバー戦争」はどこで行われているのか？ 小泉悠氏による新刊解説を特別公開
2022 年 8 月 6 日	YouTube	鶴岡路人×神保謙×小泉悠「戦争と世界のゆくえ」 #国際政治 ch 126

2022 年 8 月 13 日	文春オンライン	『この世界の片隅に』とストリートビューで見るウクライナ...77 年目の終戦の日と“戦争がある日常” 77 年、運命の夏
2022 年 8 月 15 日	週刊文春 電子版	プーチンの戦争はいつまで続く 池上 彰×小泉 悠
2022 年 8 月 16 日	文春オンライン	「聖母マリアがジャベリンを抱く画」が示す国民性とは？ 小泉悠・高橋杉雄が迫るウクライナ戦争のリアル
2022 年 8 月 16 日	文藝春秋 digital	小泉悠×高橋杉雄 ウクライナ戦争「超精密解説」
2022 年 8 月 18 日	朝日新聞 GLOBE+	【小泉悠】「いいところなし」の少年に、「細部から全体像を描く」を教えてください
2022 年 8 月 19 日	朝日新聞 GLOBE+	【小泉悠】研究者は挫折、就活はことごとく失敗 無職で気づいた自分の天職
2022 年 8 月 19 日	文春オンライン	「どこにも安全なところがないぞ、と。思想がテロに近い」ウクライナ市民の意思をくじこうとした、ロシア軍の“誤算” 小泉悠さんインタビュー#1
2022 年 8 月 19 日	文春オンライン	「あの邪悪なナチスを我々は倒した」プーチンが国民統合に利用した、ロシア人の“重たい記憶” 小泉悠さんインタビュー#2
2022 年 8 月 19 日	文春オンライン	「今回の戦争でかなりロシア人の友人を失った」安全保障研究者の小泉悠が直面した、大国・ロシアが持つ“違う世界観” 小泉悠さんインタビュー#3
2022 年 8 月 19 日	YouTube	【専門家解説】小泉悠&高橋杉雄「トップガン マーヴェリック」【#国際政治 ch ダイジェスト】
2022 年 8 月 20 日	朝日新聞 GLOBE+	【小泉悠】元大使の一本の電話、道を開く 目指すは「オタク」を束ねるプロジェクト
2022 年 8 月 20 日	NHK	「ウクライナ侵攻半年 ～“プーチンの戦争”出口はどこに～」
2022 年 8 月 21 日	テレ朝 NEWS	【日曜スクープ】ウクライナ侵攻から半年“南部攻防が激化”背景と今後の展開は
2022 年 8 月 22 日	TBS	#報道 1930 最側近 2 人に単独インタビュー 謎の無人機も登場？クリミア攻撃の真相は
2022 年 8 月 23 日	山陰中央新報 デジタル	視標「ロシアのウクライナ侵攻半年」◇上◇ 覚悟の欠如、長期戦招く 東京大専任講師・小泉悠氏 （※有料記事）
2022 年 8 月 23 日	日本経済新聞	（識者の見方）侵攻継続自体も目的に （※有料記事）
2022 年 8 月 23 日	毎日新聞	「戦闘の年内収束、考えづらい」ウクライナ侵攻半年、小泉悠さんの見方
2022 年 8 月 24 日	テレ東 BIZ	ウクライナ“勝利”の条件とは？開戦から半年【豊島晋作のテレ東ワールドポリティクス】
2022 年 8 月 24 日	神奈川新聞社	軍拡ではプーチン氏の論理と同調 東大先端研・小泉悠氏 平和つなぐ 東欧の戦火と終戦 77 年 （※有料記事）
2022 年 8 月 24 日	新浪财经（中国）	日媒：欧美响起“泽连斯基疲劳症”的声音
2022 年 8 月 25 日	BS 日テレ	【侵攻から半年】SNS や衛星が変えた“新しい戦争”とは【深層 NEWS】
2022 年 8 月 25 日	FNN プライムオンライン	『ロシア侵攻半年を検証 プーチン氏の誤算とは 兵頭&畔蒜 &小泉討論』【前編】
2022 年 8 月 25 日	FNN プライムオンライン	『ロシア侵攻半年を検証 プーチン氏の誤算とは 兵頭&畔蒜 &小泉討論』【後編】
2022 年 8 月 31 日	ニッポン放送	【飯田浩司の OK!Cozy up!】2022 年 8 月 31 日(水) コメントーター 高橋洋一、小泉悠
2022 年 8 月 31 日	朝日新聞 GLOBE	GLOBE LIVE 小泉悠さん「僕が歩んだ道」 ※朝日 ID 会員の登録（無料）が必要です
2022 年 9 月 5 日	テレ東 BIZ	“台湾戦争”とウクライナ戦争～日本の教訓とは【豊島晋作のテレ東ワールドポリティクス】
2022 年 9 月 6 日	TBS	#報道 1930 NATO 軍元最高司令官「ウクライナ勝利へ より高度な兵器を」

2022年9月8日	FNNプライムオンライン	『プーチンの代弁者出演 畔蒜&小泉が徹底追及 軍事侵攻の真相と勝算』【前編】
2022年9月8日	FNNプライムオンライン	『プーチンの代弁者出演 畔蒜&小泉が徹底追及 軍事侵攻の真相と勝算』【後編】
2022年9月8日	NHK	ウクライナ侵攻半年 ～“プーチンの戦争”出口はどこに～【前編】（文字起こし）
2022年9月8日	NHK	ウクライナ侵攻半年 ～“プーチンの戦争”出口はどこに～【後編】（文字起こし）
2022年9月8日	北海道新聞 どうしん電子版	「#北方領土考」に新聞協会賞 日ロ交渉実像に迫る 両首脳の思惑 乖離浮き彫り
2022年9月9日	文藝春秋 digital	小泉悠×千々和泰明「南部奪回の行方は？ ウクライナ戦争の『終わらせ方』」
2022年9月12日	東洋経済 ONLINE	ウクライナ戦争が古典的な戦いになった3つの訳 地経学の時代—地政学と経済の融合
2022年9月13日	TBS	#報道 1930 現地の兵士らが証言／ウクライナ“電光石火作戦”の裏側
2022年9月14日	BS日テレ	【戦況分析】ウクライナ軍の反転攻勢 “奇襲”成功、今後の行方は？【深層NEWS】
2022年9月17日	文藝春秋 digital	「プーチンに“妥協的和平”はありえるか？」小泉悠と千々和泰明が〈戦争の歴史〉を総覧して考える「ウクライナ戦争の終わらせ方」
2022年9月21日	コクリコ（講談社）	子どもに「ウクライナ紛争」をどう伝える？ 小泉悠氏も想定外の「古臭い戦争」の正体
2022年9月21日	信濃毎日新聞 デジタル	ロシアとウクライナ、そして世界はどこへ 6人の専門家にインタビューした（有料記事）
2022年9月22日	朝日新聞デジタル	プーチン氏が出した「本気」カード 小泉悠さんが語る動員の真の狙い【ウクライナ情勢】
2022年9月26日	新潮社 Foresight	ウクライナにおける戦争からの教訓 サイバーなどでの各国の動き（上）：小泉悠,山口 亮,松原実穂子
2022年9月30日	FRIDAY デジタル	まるで三国志！ウクライナ大反撃を指揮した名軍師と計略と伏兵
2022年10月4日	テレ朝 NEWS	「今ならやれる」と指令か...北朝鮮ミサイル発射 核実験“強行”の可能性は？総力解説 (tv-asahi.co.jp)
2022年10月5日	TBS	#報道 1930 拷問部屋金歯の山／プーチン氏 “併合”先の命運は？
2022年10月5日	地経学研究所	ポスト・ウクライナ危機の地経学 ― 世界はどう変わるのか？（IOG 設立記念シンポジウム「危機の時代の地経学」）
2022年10月5日	ABEMA TIMES	戦況の悪化や国民の反乱で追い込まれるプーチン大統領 核兵器を使用するのか 専門家「権力維持のため使用する可能性も」
2022年10月5日	TBS RADIO	「国会、代表質問始まる」「ゼレンスキー大統領が併合無効の大統領令に署名」荻上チキ・Session（出演）
2022年10月6日	北海道新聞	<語る伝える 講演から>対ロ制裁やめても領土問題動かず 東大先端科学技術研究センター専任講師・小泉悠氏、ウクライナ情勢解説
2022年10月6日	BS日テレ	【苦戦のロシア】プーチン大統領“小型核兵器”使用の決断は【深層NEWS】
2022年10月8日	BSテレ東	日経ニュース プラス9・ニュースの疑問「北朝鮮・ロシア……高まる核の脅威に世界は？ 日本は？」（出演）
2022年10月9日	テレ朝 NEWS	【日曜スクープ】東部要衝リマン奪還で“ウクライナ快進撃”南部で複数集落を解放
2022年10月9日	QJWeb	軍事、戦略、ロシア専門家・小泉悠登場「前・後」で情報シーンはどう変貌したか？（マライ・メントライン）
2022年10月11日	BSテレ東	戦況悪化でロシアに不協和音？核使用のリスクは？ 小泉 悠（東京大学先端科学技術研究センター 専任講師）【角谷暁子の「カドが立つほど伺います」】

2022 年 10 月 11 日	FNN プライ ムオンライン	『高橋杉雄×小泉悠対論 “橋”爆発で露報復か プーチン最新発 言分析』
2022 年 10 月 12 日	TBS	ウクライナ全土にミサイル攻撃 プーチン氏の狙いは“政治的報 復”か...「ロシアが劣勢のままこの戦争が続いていく可能性が高 い」【小泉悠さん解説】
2022 年 10 月 12 日	文藝春秋 digital	【フル動画】小泉悠×高橋杉雄「ウクライナ侵攻『超マニアッ ク』 戦場・戦術解説②」
2022 年 10 月 13 日	慶應 MCC	第 24 回 2/7 (水) 小泉 悠先生 (講師紹介) 慶應 MCC 夕学 リフレクション
2022 年 10 月 14 日	藤村・嬉野の HP どうで 荘	【水どう D 陣×小泉悠】ロシアの別荘文化から考える「安全保 障」とは何か。(視聴動画)
2022 年 10 月 15 日	テレ朝 NEWS	ロシア「核」使用なら...横須賀、三沢に影響及ぶ可能性も (サタ デーステーション)
2022 年 10 月 16 日	FNN プライ ムオンライン	「最大限の『反撃能力』を必要最小限に使う」ための議論を 北 朝鮮の核開発は「新局面」入り
2022 年 10 月 16 日	朝日新聞	【DAY1】GLOBE セッション「どうなってるの ロシアのい ま」 朝日地球会議 2022
2022 年 10 月 16 日	スポニチアネ ックス	小泉悠氏 プーチン大統領の核使用示唆に「脅しでなくなる可能 性は差し迫ってはいないと思うんですが...」
2022 年 10 月 18 日	日テレ NEWS	【解説】小泉悠氏に聞く キーウ攻撃はイラン製“カミカゼ”ドロ ーン? イランがロシアに兵器提供か
2022 年 10 月 19 日	TBS	#報道 1930 ロシア司令官「困難な決断も...」／ロシア帝国終焉 今との“共通点”
2022 年 10 月 19 日	文藝春秋 digital	「ウクライナ軍はなぜ反転攻勢ができたのか？」小泉悠と高橋杉 雄がウクライナ戦争をマニアックに解説
2022 年 10 月 19 日	Hayakawa Books & Magazines (8)	前線も後方もないサイバー戦の真実とは。『サイバー戦争 終末 のシナリオ』小泉悠×小宮山功一朗 トークイベント
2022 年 10 月 21 日	毎日新聞	苦戦に次ぐ苦戦 核大国の独裁者の胸中は 小泉悠氏 (有料 記事)
2022 年 10 月 21 日	LOFT PLUS ONE	LOFT PLUS ONE『戦争漫画無駄話』 【出演】黒井緑、小泉 悠、速水螺旋人【司会】飯田孝
2022 年 10 月 22 日	朝日新聞デジ タル	ロシアの動員「下着も靴も自分で用意」 経済制裁が逆に強めた 愛国心【ウクライナ情勢】(有料記事)
2022 年 10 月 23 日	朝日新聞デジ タル	新兵器「ポセイドン」本当に核魚雷? 小泉悠さん語るロシア冬 の戦い【ウクライナ情勢】(有料記事)
2022 年 10 月 24 日	朝日新聞デジ タル	ロシアは核を使うのか プーチン氏の狙いは 小泉悠さんはこう みる【ウクライナ情勢】(有料記事)
2022 年 10 月 26 日	TBS	#報道 1930 “汚い爆弾”に米大統領が警告／ロ軍「徘徊型ドロ ーン」「消耗戦略論」
2022 年 10 月 26 日	朝日新聞デジ タル	冬の戦い、激しい機動戦の可能性 東大先端科学技術研究センタ ー専任講師・小泉悠氏 ウクライナ危機 (有料記事)
2022 年 10 月 28 日	一般社団法人 網走青年会議 所	網走青年会議所『創立 70 周年記念事業 領土・領海問題から考 える、これからの安全保障』
2022 年 10 月 28 日	毎日新聞	論点：ロシアの核使用はあるか
2022 年 10 月 30 日	TBS	「ウクライナが使う」...ロシアが根拠なき主張繰り返す「汚い爆 弾」とは?【サンデーモーニング】【手作り解説】
2022 年 11 月 3 日	テレビ朝日	大下容子ワイド!スクランブル (出演)
2022 年 11 月 4 日	笹川平和財団	【シンポジウム】SPF China Observer 衛星画像分析—ザポリ ャ原発の現状と今後の懸念事項
2022 年 11 月 7 日	文化放送	「戦争は相当長く続くのでは？」専門家がウクライナ情勢の今後 3 つのシナリオをズバリ解説！大竹「泥沼化しそう...」

2022 年 11 月 7 日	文化放送	ウクライナ問題について【ゲスト：小泉悠】【大竹まことゴールデンラジオ】（出演箇所抜粋）
2022 年 11 月 8 日	TBS	#報道 1930 トランプ氏 来週“重大発表” “プーチンのシェフ” 選挙介入なぜ認めたか
2022 年 11 月 10 日	FNN プライムオンライン	『高橋杉雄×小泉悠対論 米選挙結果にロシアは ウクライナ戦況と分析』【前編】 FNN プライムオンライン
2022 年 11 月 10 日	FNN プライムオンライン	『高橋杉雄×小泉悠対論 米選挙結果にロシアは ウクライナ戦況と分析』【後編】 FNN プライムオンライン
2022 年 11 月 10 日	朝日新聞デジタル	ヘルソン撤退は「一種の損切り」 小泉悠さんに聞く、戦況の展望【ウクライナ情勢】
2022 年 11 月 10 日	河北新報オンライン	軍事アナリスト・小泉悠氏がウクライナ情勢解説 岩沼で講演
2022 年 11 月 10 日	BS フジ	▼米中間選挙にロシアが介入か 高橋杉雄×小泉悠が分析 #BS フジ LIVE プライムニュース（出演）
2022 年 11 月 10 日	文藝春秋 digital	【ダイジェスト版】小泉悠×高橋杉雄「ウクライナ侵攻『超マニアック』戦場・戦術解説②」
2022 年 11 月 11 日	言論テレビ	特番「世界は急展開！日本よ目覚めよ」西岡力・救う会会長／小泉悠・軍事評論家／高橋杉雄・防衛研究所防衛政策研究室長（会員限定）
2022 年 11 月 14 日	BS テレ東	ウクライナ 南部要衝ヘルソン奪還 混乱ロシア軍 どう動く？【日経プラス9】
2022 年 11 月 14 日	文藝春秋 digital	プーチンの核戦略 小泉悠×高橋杉雄
2022 年 11 月 16 日	FNN プライムオンライン	『トランプ氏重大発表&撤退で苦境プーチン氏 G20 欧米とロシア対立』【前編】
2022 年 11 月 16 日	FNN プライムオンライン	『トランプ氏重大発表&撤退で苦境プーチン氏 G20 欧米とロシア対立』【後編】
2022 年 11 月 16 日	ABEMA	ABEMA ヒルズ【緊迫】ポーランド"ミサイル着弾 2 人死亡" NATO どうする？専門家に聞く
2022 年 11 月 18 日	TBS	#報道 1930 『東部で激戦が続くなか “政治的対話”発言の意図は』
2022 年 11 月 20 日	テレ朝 NEWS	【ウクライナ進撃】ロシア軍が要塞化“メリトポリ”奪還巡り戦闘激化◆日曜スクープ◆
2022 年 11 月 21 日	NHK	デジタル・ウクライナ II～埋もれた戦禍を追う～・BS1 スペシャル
2022 年 11 月 23 日	月刊朝鮮（韓国）	[글로벌 인터뷰] 고이즈미 유 일 도쿄대 첨단과학기술센터 연구원 【グローバルインタビュー】小泉悠 東京大学先端科学技術研究センター研究員
2022 年 11 月 23 日	BS11	報道ライブ インサイド OUT「冬到来で戦闘激化!? ロシア軍インフラ施設集中攻撃」ゲスト：小泉 悠、合六 強
2022 年 11 月 24 日	NHK	ロシア軍事侵攻 専門家“冬の戦闘激化 来年いっぱい続くか”
2022 年 11 月 24 日	北日本新聞ウェブ	東京大学先端科学技術研究センター専任講師の小泉悠氏が講演 北日本政経懇話会 11 月例会（会員限定）
2022 年 11 月 28 日	NHK	ロシア軍事侵攻「この冬の戦闘は激化する」専門家の最新分析
2022 年 11 月 30 日	BS フジ	▼気温低下&凍結で戦闘激化?小泉悠×東野篤子が情勢分析 #BS フジ LIVE プライムニュース（出演）
2022 年 12 月 4 日	TBS	防衛政策の大転換？防衛費が GDP 比 2%に？反撃能力を巡って...【風をよむ】サンデーモーニング
2022 年 12 月 4 日	東洋経済オンライン	ロシア苦戦を予言していた 19 世紀の古典「戦争論」 特集（有料会員記事）
2022 年 12 月 7 日	TBS	ロシア国内に連日攻撃 プーチン氏の報復「核攻撃」規約も...【12 月 7 日（水）#報道 1930】
2022 年 12 月 7 日	NHK	ニュースウォッチ 9「ロシア国内の複数の空軍基地で爆発 プーチン大統領は安全保障会議を招集 事態を深刻に受け止めか」

2022 年 12 月 8 日	夕刊フジ	ZAKZAK “日本攻撃、プーチン大統領が計画との衝撃情報 ロシア諜報機関の内通者から発覚 信憑性は「背後にいる米国を見据えていたのでは」 畔蒜氏
2022 年 12 月 14 日	TBS	米“パトリオット”供与へ クリミアが奪還される日【12 月 14 日（水）#報道 1930】
2022 年 12 月 15 日	笹川平和財団	SPF China Observer 公開フォーラム「衛星画像分析—ザボリージャ原発の現状と今後の懸念事項」（2022 年 11 月 4 日）
2022 年 12 月 16 日	TBS	「抑止効果は疑問」来年度予算にトマホーク購入費用 2100 億円計上へ 日朝首脳会談の立役者が指摘する「反撃能力」「安保外交」に必要な議論とは【news23】
2022 年 12 月 17 日	言論テレビ	【櫻 LIVE】第 530 回・高橋杉雄・防衛研究所防衛政策研究室長 × 小泉悠・軍事評論家 × 櫻井よしこ（プレビュー版）
2022 年 12 月 18 日	TBS	防衛費倍増「反撃能力」5 兆円の中身 なぜ日本は今まで保有してこなかった？ 防衛政策の大転換...その費用対効果は？【サンデーモーニング】【手作り解説】
2022 年 12 月 19 日	TBS	激化する塹壕戦... ウクライナ兵訓練の“モーツァルト”とは【12 月 19 日（月）#報道 1930】
2022 年 12 月 21 日	B S テレ東	【日経ニュース プラス 9】小泉・東野 徹底分析！ 年明け 首都キウ再攻撃はあるのか
2022 年 12 月 22 日	ニッポン放送	【飯田浩司の OK!Cozy up!】 Podcast コメンテーター：飯田泰之&小泉悠
2022 年 12 月 22 日	YouTube	小泉 悠×東野篤子×高橋杉雄「大忘年会 2022」 #国際政治 ch 135
2022 年 12 月 23 日	朝日新聞デジタル	小泉悠が重ねるウクライナと漫画ナウシカ 「戦争かっこいい」の先に（有料記事）
2022 年 12 月 24 日	ビデオニュース・ドットコム	小泉悠×宮台真司×神保哲生：ウクライナで戦争が起きた理由とそれがなかなか終わらない理由【ダイジェスト】
2022 年 12 月 26 日	産経新聞	【メディアインサイド】ウクライナ報道、安易な両論併記は議論損なう 東大専任講師・小泉悠氏に聞く（有料記事）
2022 年 12 月 27 日	論壇チャンネル「ことのは」	【全編公開】小泉悠×小谷賢：日本のインテリジェンス～いかに機密を守るか～
2022 年 12 月 29 日	NEWS PICKS	【徹底解説】ウクライナで、2023 年に起きること
2022 年 12 月 30 日	日本経済新聞	「プーチンの戦争」泥沼に 核の脅し 世界秩序動揺（会員限定記事）
2023 年 1 月 1 日	ハフポスト WORLD	ウクライナを見捨てれば、日本も同じ運命になりうる。軍事研究者の小泉悠さんは警告する【ウクライナ戦争】
2023 年 1 月 4 日	文藝春秋電子版	【特集・小泉悠】2023 年、ウクライナ戦争はどう動く？
2023 年 1 月 4 日	NEWS ポストセブン	【外交予測座談会 一回目】中国による台湾侵攻はいつか ゼロコロナ政策の影響で前倒しになる可能性
2023 年 1 月 4 日	NEWS ポストセブン	【外交予測座談会 二回目】台湾侵攻より先に尖閣諸島の現状変更がなされる危険 日本に残された対抗手段は
2023 年 1 月 4 日	NEWS ポストセブン	【外交予測座談会 三回目】2023 年に起こりうる中国による尖閣奪取、日本がウクライナから学ぶべきこと
2023 年 1 月 5 日	TBS	ロシア軍「携帯使用」「失態」発表の意図／兵士が証言 暖冬の最前線で“新たな事態”【1 月 5 日（木）#報道 1930】
2023 年 1 月 6 日	FNN プライムオンライン	兵頭×小泉が徹底予測 2023 年ウクライナ情勢 プーチン戦略と引き際
2023 年 1 月 6 日	テレ朝 NEWS	プーチン大統領の一方的“停戦提案” 本心か策略か？その意図は
2023 年 1 月 6 日	読売テレビ	【ヨコスカ解説】プーチン大統領が“3 6 時間停戦”指示 ウクライナ侵攻を巡って新たな動きが... カギを握る日本

2023 年 1 月 7 日	光文社	VERY [ヴェリィ] 2 月号 「悪者は誰かを決めるだけでは戦争はなくなる」 軍事評論家・小泉 悠さんと考える ウクライナ侵攻から一年、子どもと話したい「戦争と正義のこと」
2023 年 1 月 9 日	BS 日テレ	【プーチン氏誤算】「歩兵戦闘車・自走榴弾砲」初供与で侵攻新局面に【深層 NEWS】
2023 年 1 月 9 日	文藝春秋電子版	「平和ボケ」日本はウクライナで目覚めよ
2023 年 1 月 10 日	FNN プライムオンライン	『高橋杉雄×小泉悠対論 ウクライナ情勢を分析 両者最新本に見る本音』【前編】
2023 年 1 月 10 日	FNN プライムオンライン	『高橋杉雄×小泉悠対論 ウクライナ情勢を分析 両者最新本に見る本音』【後編】
2023 年 1 月 10 日	NHK	ニュースウォッチ 9「小泉悠氏に聞く ウクライナ東部 戦況の行方」
2023 年 1 月 11 日	NHK	【専門家解説】ウクライナ 真冬の東部激戦地はいま
2023 年 1 月 12 日	文春オンライン	『ウクライナ戦争』 #1 「48 時間以内に占領する」つもりだったが...ロシアが「小国のウクライナ」に苦戦する 3 つの軍事的理由
2023 年 1 月 12 日	文春オンライン	『ウクライナ戦争』 #2 「全面核戦争を覚悟しなければならない」小泉悠が明かした「ロシアが核使用に踏み切れない」事情
2023 年 1 月 13 日	NIKKEI STYLE	ウクライナ戦争から考える 日本を取り巻く世界の現実 NIKKEI リスキリング
2023 年 1 月 16 日	TBS	戦車戦の現実...“ウクライナに西側戦車供与”狙いと課題【1 月 16 日(月) #報道 1930】
2023 年 1 月 18 日	BS フジ	LIVE プライムニュース▼露民間軍事会社「ワグネル」の功罪を高橋&小泉が分析 (出演)
2023 年 1 月 19 日	BS 日テレ	【プーチン氏“焦り”】米独戦車供与は？戦闘新局面へ・・・ベラルーシ参戦めぐり元閣僚証言【深層 NEWS】
2023 年 1 月 19 日	NHK	ロシア語で投降呼びかけ ウクライナ国防相の狙いは？
2023 年 1 月 22 日	BS 朝日	日曜スクープ「ウクライナ戦況...分岐点か?激戦地包囲と戦車支援」 (出演)
2023 年 1 月 26 日	朝日新聞デジタル	(一語一会) 軍事アナリスト・小泉悠さん 妻のエレーナさんからの言葉 (有料会員記事)
2023 年 1 月 30 日	TBS	激戦地バフムト陥落か 戦車供与 300 両超で始まる“空の戦い”【1 月 30 日 (月) #報道 1930】
2023 年 2 月 1 日	TBS ラジオ	【音声配信】2/1 (水)「Yahoo!ニュース Voice in Session」ゲスト：東京大学先端科学技術研究センター専任講師・小泉悠さん
2023 年 2 月 3 日	NHK	国際報道 2023「ロシア語で呼びかけ」ウクライナ側の狙いは
2023 年 2 月 3 日	佐賀新聞	小泉氏、ウクライナ侵攻語る 10 日に佐賀政経懇話会
2023 年 2 月 6 日	TBS	メディアも“教育”? ロシア アフリカ“接近”の狙い【2 月 6 日(月) #報道 1930】
2023 年 2 月 7 日	慶應 MCC	夕学リフレクション 第 24 回 2/7 (水) 小泉 悠先生 演題「ロシアの論理、ウクライナの論理」
2023 年 2 月 10 日	北海道新聞デジタル	<シリーズ評論・ウクライナ侵攻 1 年>②小泉悠・東大先端科学技術研究センター専任講師 中ロ接近には限界 ロシアの思考回路学ぶ必要
2023 年 2 月 11 日	佐賀新聞	ウクライナ侵攻を解説 佐賀政経懇話会 東大講師の小泉悠氏講演
2023 年 2 月 12 日	文藝春秋	「〈消費弾薬 11 万トン〉ロシア軍の“肺の強さ”を解明する」小泉悠と高橋杉雄がロシア軍“予備戦車 2 万両”の真偽を議論
2023 年 2 月 13 日	BS フジ	プライムニュース▼高橋杉雄&小泉悠が徹底分析!ロシア大攻勢の戦略と戦術
2023 年 2 月 16 日	TBS	制裁下のロシアがなぜ?「精密誘導ミサイル」製造の実態【2 月 16 日(木) #報道 1930】

2023年2月17日	週刊エコノミスト Online	ウクライナ侵攻1年：インタビュー「両国とも戦意衰えず」小泉悠・東京大学先端科学技術研究センター専任講師
2023年2月17日	中央公論	小泉 悠×熊倉 潤 プーチンと習近平の急所はどこにあるのか？——二つの権威主義体制を徹底解剖
2023年2月19日	文藝春秋	「戦争指導者として プーチンは強敵か？」小泉悠と高橋杉雄が〈ロシア軍の現状〉を分析
2023年2月20日	日本経済新聞	ウクライナ侵攻、小泉悠氏「国家間戦争の脅威を可視化」
2023年2月21日	tass（ロシア）	Эксперт: Токио настроен на скорейшее размещение в Японии ракет средней дальности США
2023年2月21日	TBS RADIO	【音声配信】「侵攻から1年。小泉悠さんと考えるウクライナ戦争」▼2023年2月21日（火）放送分 TBS ラジオ FM90.5 + AM954～何かが始まる音がする～
2023年2月22日	NHK	【解説】 ウクライナ侵攻1年 ロシアへの経済制裁の効果は
2023年2月22日	東京大学	軍事・安全保障研究から見るロシア・ウクライナ戦争
2023年2月22日	京都新聞	ウクライナ戦争、長期戦ならロシア有利 小泉東大専任講師が語る「将来」「核」（有料記事）
2023年2月22日	日経ビジネス電子版	キーウを短期で制圧できず、プーチン氏が1年戦うはめになった理由
2023年2月22日	日経ビジネス電子版	小泉悠氏に聞く、ウクライナを巡る核の抑止力と春の大攻勢のその先
2023年2月22日	BS フジ	プライムニュース▼"軍事侵攻1年"プーチン演説を兵頭×小泉が徹底解説
2023年2月23日	NHK	NHKニュース7 軍事侵攻あすで1年 戦局のカギは...・NHK プラス（見逃し配信）
2023年2月23日	文藝春秋	「ジャベリン供与の謎・反共ゲリラ“森の兄弟”・ウクライナ蜂起軍」小泉悠と千々和泰明が語る〈キーウは陥落しなかった理由〉
2023年2月23日	ニッポン放送	辛坊治郎ズームそこまで言うか！スペシャル ウクライナ侵攻から1年
2023年2月23日	産経新聞	【私はこうみる】ウクライナ、消耗戦なら不利 米欧の支援焦点 小泉悠氏（有料記事）
2023年2月23日	朝日新聞デジタル	小泉悠さんが語るウクライナ侵攻2年目の行方と懸念 新兵器の威力は【ウクライナ情勢】
2023年1月25日	朝日新聞デジタル	<お知らせ>侵攻から1年、どうなるウクライナ情勢 記者サロン
2023年2月23日	BS 日テレ	【侵攻1年“ロシアの誤算”】首都キーウに迫ったロシア軍なぜ？侵攻「2年目」焦点は？“プーチンの戦争”見えない出口【深層NEWS】
2023年2月24日	信濃毎日新聞デジタル	ウクライナ支援は安全保障への投資 東京大専任講師・小泉悠氏に聞く【ウクライナ侵攻1年】（有料記事）
2023年2月24日	読売テレビ	【かんさい情報ネット ten.ヨコスカ解説】軍事侵攻から1年...ロシアとウクライナ、現在の戦力は？今後の戦術は？ウの「ロシア化」現状は？ 専門家が衛星画像を徹底分析
2023年2月24日	テレビ朝日	報道ステーション（出演）
2023年2月25日	文藝春秋	「ロシア軍はなぜ『渡河装甲車』を作り出したのか」小泉悠と高橋杉雄が“ドローン以後の現代戦争”を解説
2023年2月25日	乗りものニュース	ロシア専門家 小泉 悠が説く ウクライナ紛争「落としどころ」は？ プーチンは拳を下ろすか
2023年2月26日	テレビ朝日	【ウクライナ侵攻1年】ロシア攻撃継続「殺戮と破壊」民間犠牲の実相◆日曜スクープ◆(2023年2月26日)
2023年2月27日	光文社	VERY [ヴェリィ] ▼【ウクライナ侵攻から一年】“なぜ戦争は起きるの？”と子どもに聞かれたら

2023年3月1日	朝日新聞デジタル	見据える先はプーチン政権の転覆 ウクライナ軍で戦うロシア人部隊【ウクライナ情勢】(有料記事)
2023年3月2日	TBS	『ウクライナ“脱ロシア”の裏に...／G7サポートグループの存在』【3月2日(木) #報道1930】
2023年3月3日	NHK	ロシアの軍事侵攻いつまで？停戦は？ 軍事専門家の最新の見立て NHK
2023年3月8日	静岡新聞	ウクライナ「戦争当面続く」 東大先端研の小泉氏講演
2023年3月9日	産経新聞	【千葉正論懇話会】小泉悠氏が講演 「ウクライナを決定的に勝たせる決断を」 - 産経ニュース
2023年3月11日	岐阜新聞 Web	対ロシア政策で展望 県経済同友会 小泉悠氏が講演
2023年3月13日	文藝春秋 電子版	「ナポレオンも苦しんだウクライナ『プリピャチ湿地』の苛酷な戦闘」小泉悠と高橋杉雄が“重要地形”から分析するウクライナ戦争
2023年3月13日	文藝春秋 電子版	【フル動画】小泉悠×高橋杉雄「ウクライナ侵攻『超マニアック』戦場・戦術解説③」 (有料記事)
2023年3月15日	一般社団法人デジタル・クライシス総合研究所	デジクラトークナイト Vol.10「日本におけるウクライナ侵攻に関するネット論調の変遷と情報戦」
2023年3月16日	TBS	報道1930▼ウクライナ大消耗戦の真実...反攻作戦に暗雲か？戦場のスナイパー証言、南部で激増ロ軍の要塞(出演)
2023年3月16日	TBS	『ウクライナ“大消耗戦”の真実 ロシア“動員兵”「消耗品でも肉片でもない」』【3月16日(木) #報道1930】
2023年3月21日	産経新聞	「国際秩序壊すロシア」ウクライナ侵略で小泉悠氏 千葉「正論」懇話会詳報
2023年3月22日	TBS	軟禁の女子大生がロシア脱出／兵不足...ロシア“隠れ動員”の手口【3月22日(水) #報道1930】
2023年3月24日	テレビ朝日	報道ステーション▼【ロシアが“核反撃”示唆 背景は】
2023年3月25日	読売新聞	ウクライナ大統領単独会見 識者に聞く
2023年3月25日	放送大学	BS 16番目の授業 「現代の国際政治(22)～ロシアのウクライナ侵攻を考える～」
2023年3月25日	読売新聞	ウクライナ大統領単独会見 識者に聞く
2023年3月27日	BS フジ	プライムニュース▼高橋杉雄×小泉悠分析 ウクライナ最新戦況は バフムトで露軍失速か
2023年3月28日	文藝春秋 電子版	「戦争終結」の全歴史を考察する」小泉悠と千々和泰明がウクライナ戦争とプーチンの〈損害受忍度〉を解析
2023年3月29日	講談社	スペシャリスト2人が大議論「プーチン大統領が核のカバン“チェゲト”を開くとき」 FRIDAY (フライデー)
2023年3月30日	FNN プライムオンライン	『戦術核配備で米露応酬 プーチン氏の本気度は 兼原×小泉が思惑分析』【後編】 - YouTube
2023年3月30日	FNN プライムオンライン	『戦術核配備で米露応酬 プーチン氏の本気度は 兼原×小泉が思惑分析』【前編】 - YouTube

③山口特任助教

日付	媒体	番組名・タイトル等
2022年4月14日	NKPRO	Japan faces hurdles in acquiring counterstrike options against DPRK attacks NK PRO
2022年4月26日	NHK	ニュース7 北朝鮮の軍事パレードについて (NHK プラス見逃し配信)

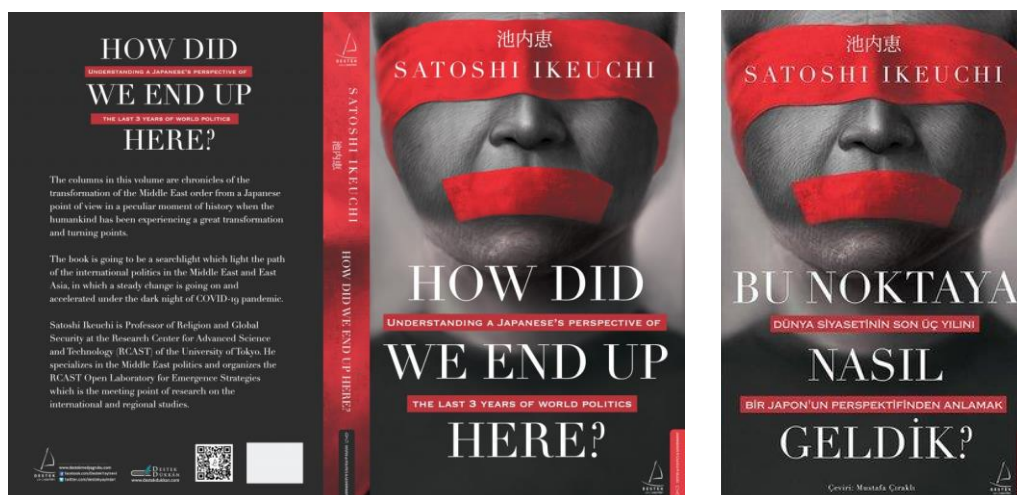
2022 年 4 月 26 日	乗りものニュース	北朝鮮・識者談話 ◇兵器にサプライズなし (ソウル時事)
2022 年 4 月 28 日	NHK	【詳しく】キム総書記 核先制攻撃も辞さない構え なぜいま？
2022 年 5 月 20 日	Newsy (アメリカ)	北朝鮮コロナ感染拡大について “North Korea COVID-19” (動画なし)
2022 年 5 月 24 日	Telegraaf (オランダ)	Noord-Korea vertrouwt alleen Chinese hulp in 'explosieve corona-uitbraak' (有料記事)
2022 年 5 月 24 日	South China Morning Post (香港)	Quad leaders vow to oppose attempts to 'change status quo by force', with China and Russia on their minds (有料記事)
2022 年 5 月 25 日	Thanh Nien(ベトナム)	Bộ tứ 'cầu đồng tồn dị' trước loạt thách thức an ninh
2022 年 5 月 28 日	East Asia Forum	Japan eyes developing counterattack capabilities
2022 年 6 月 3 日	South China Morning Post (香港)	Is China's assertiveness, Ukraine war behind pacifist Japan's policy change to allow the export of heavy arms?
2022 年 6 月 3 日	South China Morning Post (香港)	Latest news and updates on Ukraine war
2022 年 6 月 3 日	South China Morning Post (香港)	South Korea
2022 年 6 月 7 日	ABEMA	【脅威】成田悠輔「やんちゃ坊主の独裁者がいる国」北朝鮮が暴発したら？アメリカは交渉に動く？
2022 年 6 月 7 日	ABEMA TIMES	北朝鮮のミサイル連続発射は中間選挙を控えるバイデン政権への“メッセージ”？専門家「アメリカが対話に応じた 2006 年に似た状況だ」
2022 年 6 月 21 日	THE EPOCH TIMES	Japan's Exploring 'Counterstrike Capabilities' to Response to Growing China Threats in Indo-Pacific
2022 年 6 月 20 日	South China Morning Post (香港)	Will fresh Sino-Japanese talks over China's gas drilling end in deadlock again?
2022 年 7 月 5 日	South China Morning Post (香港)	Asia-Pacific leaders at Nato summit a sign of strategic shift amid Russia, China threats: analysts
2022 年 7 月 22 日	South China Morning Post (香港)	Japan outlines concerns over increased China-Russia cooperation amid Ukraine war
2022 年 8 月 5 日	読売テレビ	かんさい情報ネット ten (出演) 山口亮 「あすは広島原爆忌... 台湾情勢緊迫する中“核廃絶”と“核の傘”で揺れる日本は？」
2022 年 8 月 8 日	South China Morning Post (香港)	How boost-phase missile defenses could help combat North Korean threats
2022 年 9 月 4 日	South China Morning Post (香港)	Japan's defence moves 'necessary' amid growing China aggression in Taiwan Strait: analysts
2022 年 9 月 14 日	NKPRO	North Korean missile threats drive Japan's defense budget to record high
2022 年 9 月 26 日	South China Morning Post (香港)	Buying more Russian fuel: why some of Asia not criticised as much as India

2022 年 9 月 26 日	新潮社 Foresight	ウクライナにおける戦争からの教訓 サイバーなどでの各国の動き（上）：小泉悠, 山口 亮, 松原実穂子
2022 年 9 月 29 日	South China Morning Post（香港）	The deep divide: Japan and China mark 50 years of ties, but tensions unlikely to ease, analysts say
2022 年 9 月 29 日	German Council on Foreign Relations（ドイツ）	Japan: Defense Planning in Transition DGAP
2022 年 10 月 5 日	NKPRO	Seoul will need more than impressive weapons to deter North Korean threats
2022 年 10 月 6 日	NKNEWS	North Korea flies 12 fighter jets and bombers in apparent firing drills: Seoul
2022 年 10 月 6 日	読売テレビ	かんさい情報ネット ten（出演）山口亮 「ヨコスカ目線「北朝鮮 またミサイル」
2022 年 10 月 14 日	時事ドットコム	北朝鮮、多様なミサイル誇示 貯水池からも発射—戦術核を部隊配備
2022 年 10 月 19 日	South China Morning Post（香港）	Japan could forgive some of Sri Lanka's debt in planned meeting with its creditors: report
2022 年 10 月 19 日	NHK	北朝鮮のミサイル発射「戦術核運用部隊」とは？
2022 年 10 月 24 日	Deutsche Welle（ドイツ）	Japan: Foreigners banned from buying land near army sites
2022 年 10 月 12 日	時事ドットコム	北朝鮮、多様なミサイル誇示 貯水池からも発射—戦術核を部隊配備
2022 年 10 月 19 日	NHK	北朝鮮のミサイル発射「戦術核運用部隊」とは？
2022 年 11 月 2 日	ABEMA	ABEMA 変わる報道番組 アベプラ「北ミサイル立て続けに 韓国で空襲警報も」
2022 年 11 月 3 日	読売テレビ	【ヨコスカ解説】ICBM 含むミサイル連発、東大先端研特任助教に聞く北朝鮮の狙いとミサイル開発の現状
2022 年 11 月 3 日	ABEMA	ABEMA 変わる報道番組 アベプラ「1 日 20 発以上...北朝鮮ミサイルなぜこんなに発射？」
2022 年 11 月 4 日	South China Morning Post（香港）	North Korea missile barrage could continue, nuclear test likely, as tensions stay high, analysts say
2022 年 11 月 4 日	読売テレビ	かんさい情報ネット ten（出演）山口亮「北朝鮮 深夜にまたミサイル」
2022 年 11 月 6 日	フジテレビ	Mr.サンデー（出演）「緊迫の朝鮮半島...日本への影響」
2022 年 11 月 7 日	FNN プライムオンライン	異例！今年だけで 50 発超なぜ？”ミサイル先進国”北朝鮮の知られざる「貴族部隊」 日本を狙う「変則軌道」の脅威
2022 年 11 月 7 日	時事ドットコム	2～5 日の発射は「軍事作戦」 米韓合同訓練に対抗—北朝鮮
2022 年 11 月 10 日	朝鮮テレビ（韓国）	탐사보도 세븐 다시보기（北朝鮮の軍事挑発について「探査報道セブン」）
2022 年 11 月 14 日	South China Morning Post（香港）	Boost for Japan-South Korea ties as Kishida, Yoon vow to resolve historical disputes, security issues
2022 年 11 月 14 日	関西テレビ	報道ランナー「東アジア安全保障情勢について」
2022 年 11 月 14 日	FNN プライムオンライン	中国が「東シナ海で日本の主権を侵害」と強く主張した日本 緊張感高まる国際情勢を専門家が解説 FNN プライムオンライン

2022 年 11 月 18 日	読売テレビ	朝生ワイド す・またん！Zip！「日中首脳会談」「中国の「潤（ルン）」問題」
2022 年 11 月 18 日	関西テレビ	【解説】北朝鮮のミサイルが北海道沖に落下 次は「核実験か」専門家は"ミサイル完成"の可能性を指摘 【報道ランナー】
2022 年 11 月 18 日	読売テレビ	【ヨコスカ解説】狙いは何？相次ぐ北朝鮮のミサイル発射実験 注目すべきポイントと予想される今後の動き
2022 年 11 月 19 日	時事ドットコム	米射程 I C B M 技術進展も 「怪物」火星 1 7、再試験か—北朝鮮
2022 年 12 月 14 日	South China Morning Post (香港)	Japan is upgrading China to a defence 'threat'. A long overdue move?
2022 年 12 月 14 日	Báo giao thông (ベトナム)	Nhật Bản sắp sửa chiến lược, coi Trung Quốc là thách thức chưa từng có ()
2022 年 12 月 19 日	NKNEWS	Japan's new security strategy backs counterstrikes against North Korean attacks
2023 年 1 月 2 日	NKNEWS	ROK military welcomes sharing intel with Japan on North Korean missile launches
2023 年 1 月 11 日	テレビ朝日	「大下容子ワイド！スクランブル」(出演)
2023 年 1 月 18 日	South China Morning Post (香港)	Japan really wants the US to join the CPTPP. But 'politically weak' Biden isn't interested
2023 年 2 月 6 日	TBS	N スタ「中国の偵察気球について」(出演)
2023 年 2 月 8 日	South China Morning Post (香港)	Japan has 'legal right' to destroy a foreign balloon amid past sightings probe
2023 年 2 月 9 日	NKNEWS	North Korea rolls out most long-range nuclear missiles ever at military parade
2023 年 2 月 9 日	NHK	ニュース 7「北朝鮮の軍事パレードについて」(出演)
2023 年 2 月 9 日	時事ドットコム	I C B M や戦術核部隊誇示 軍事パレード、新兵器も登場—北朝鮮
2023 年 2 月 10 日	NKNEWS	Expert roundup: Why North Korea flexed long-range missile might at latest parade
2023 年 2 月 10 日	読売テレビ	【ヨコスカ解説】軍事パレードから見える北朝鮮の今後—“第 2 子”ジュエ氏登場と“新兵器”固体燃料型 ICBM 公開に込められた金総書記のメッセージとは？
2023 年 2 月 11 日	日本テレビ	ウェークアップ▼北朝鮮の軍事パレード、金正恩の娘、中国の気球について (出演)
2023 年 2 月 12 日	フジテレビ	Mr.サンデー (出演)
2023 年 2 月 14 日	フジテレビ	めざましテレビ (出演)
2023 年 2 月 21 日	thanhnien (ベトナム)	Nước cờ tên lửa mới của Triều Tiên
2023 年 2 月 21 日	テレ朝 NEWS	北朝鮮“ミサイル基地”を分析 数年で様変わり...施設から 2 本の道路“地下格納庫”か
2023 年 2 月 25 日	テレビ愛知	激論コロシウム～これでいいのか？ニッポン～
2023 年 2 月 26 日	TBS テレビ	サンデーモーニング (出演)
2023 年 2 月 27 日	一般財団法人霞山会	月刊『東亜』2023 年 3 月号 「北朝鮮の核戦略：進展と課題」

2023 年 3 月 3 日	South China Morning Post (香港)	Russian 'backlash', energy issues holding back Japan's Kishida from Ukraine trip: analysts
2023 年 3 月 8 日	NHK	北朝鮮 なぜこんなにミサイル撃つ？ 思惑は？【3月7日改訂版】
2023 年 3 月 8 日	Deutsche Welle (ドイツ)	How are China's neighbors viewing Beijing's military plans?
2023 年 3 月 8 日	South China Morning Post (香港)	High hopes for Japan-South Korea tourism and trade as forced labour row set to ease
2023 年 3 月 21 日	The Japan Times	With renewed push, Kishida looks to put his own stamp on Japan's Indo-Pacific strategy
2023 年 3 月 22 日	South China Morning Post (香港)	Japan's Kishida and India's Modi share common concerns about China, but they can't agree on Ukraine stance, analysts say
2023 年 3 月 25 日	South China Morning Post (香港)	TikTok bans: will Asia follow West's lead as US turns the screws on China-linked app?

また、書籍については、池内教授がトルコ・イスタンブールの出版社 Destec 社と関係を強化し、英語、トルコ語の双方で、中東政治分析に関する書籍を出版し、グローバル・サウスに向けての、現地社会に内在した発信のモデルを実験的に示した。それらは How Did We End Up Here? (英語、2021 年)、Bu Noktaya Nasil Geldik? (トルコ語、2021 年)である。



4. 国民の外交・安全保障問題に関する理解増進

(1) ROLES ウェブサイトでの発信

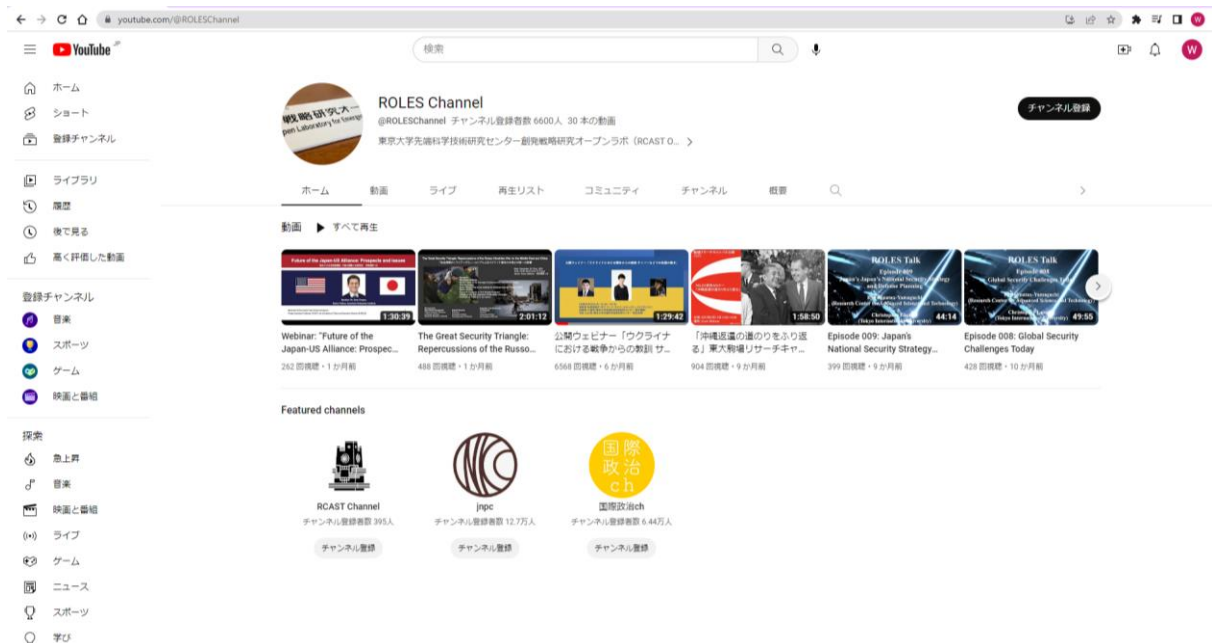
当センターは、事業計画書に記載のとおり、大学が真の意味でのシンクタンクとして社会で役割を発揮するための舞台設定として、2020年9月に「東大先端研創発戦略研究オープンラボ(ROLES: RCAST Open Laboratory for Emergence Strategies)」を発足させた。ROLESは、東大の附置研究所である先端研の豊かなリソースを活用し、大学の社会の中での役割(Roles)を問い直し、本来の意味での「シンクタンク」として、そのあり方を再確認し、再定義していく。また、「オープンラボ」とは、部局、学科や研究室を超えて、それらに属す研究者が、研究上で自由に交差し、協力することのできる場を指す。

ROLESでは、大学外から、今現在の緊急な国際問題に密接に結びついたさまざまなプロジェクトを呼び込み、社会との接点と相互交流を、積極的に生み出していき、国内官庁や企業を始め、諸外国の大学やシンクタンク、各国の政府機関や企業との関係を積極的に構築しており、公式ウェブサイト(下図参照、<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/>)では、本補助金事業に関する活動や研究成果を随時発信している。



(2) ROLES チャンネルでの発信

また、You Tube に ROLES チャンネルを設定し(下図参照)、随時発信している。初年度の登録者数は231名であったが、今年度末(2023年3月31日)時点では、6600名と30倍近く増えた。同チャンネルでは、公開ウェビナーに加えて、日本語と英語にて時宜にかなったテーマで専門家による見解を発信している。



URL: <https://www.youtube.com/@ROLESChannel>

その他、Peatix のウェブサイトにも ROLES 専用の申込ページを設置しており、SNS によるフォロワー数は初年度の 1543 名から 2,837 名に増えた。同ページでは、ROLES によるシンポジウムやセミナーの開催案内を実施しており、フォロワーは最新の案内を受け取れるようになっている。

URL: <https://gsr-rcast.peatix.com/>



(3) 公開ウェビナーの開催

今年度は、以下の公開ウェビナーを開催した。海外有識者をパネリストとして招いた会合では、国民の理解増進を図るため、日英同時通訳を導入した。その概要は以下の通り(一部、3-1の「2.」との重複あり)。

年月日	会合名／分科会名	登壇者（所属）	事前登録人数	参加人数
2022/6/11 (土)	懇談会 東大駒場リサーチキャンパス公開 2022：池内研（ROLES）バーチャル研究室公開	池内研所属研究員		90
2022/6/11 (土)	セミナー 東大駒場リサーチキャンパス公開 2022：ROLES 研究セミナー「沖縄返還の道のりを振り返る」	池宮城陽子 (日本学術振興会特別研究員) 真栄城拓也 (大阪大学 CO デザインセンター特任研究員) 鍛冶一郎 (東京大学先端科学技術研究センター特任研究員) 岩間陽子 (政策研究大学院大学教授)		133
2022/9/12 (木)	セミナー 公開ウェビナー「ウクライナにおける戦争からの教訓 サイバーなどでの各国の動き」	松原実穂子	190	206

(4) コメンタリー「ROLES Report/Commenatary」の発信

ROLES ウェブサイトにおいて、以下の通りコメンタリーを発信した。2,000 字程度の短いものは「ROLES Commentary」、1 万字前後の論考は「ROLES Report」として区別し、ROLES ウェブサイトに掲載した(<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/publications>)。「ROLES Report」については、手に取ってもらいやすいように、プロのデザイナーを入れて編集した。



【ROLES Report 一覧】

掲載日	氏名	タイトル
2022.04.05	乗松 亨平	ユーラシア主義の歴史的・地域的展開
2022.06.08	中井遼	バルト三国の情報安全保障とロシアの影響力工作：世論・メディア・ロシア語系住民・歴史認識問題
2022.09.16	岡本 正明	ASEAN 諸国におけるスマートシティの乱立と多国間・多企業間競合のリスク
2023.03.31	小島 吉之	ロシアのウクライナ侵攻(2022 年 2 月)と米国の情報開示 — 情報による戦争抑止の可能性に関する考察 —
2023.03.31	鳥潟 優子	アメリカの冷戦戦略と旧イタリア植民地 — フィリッパ・C・ジェッサップの回顧録を手掛かりに

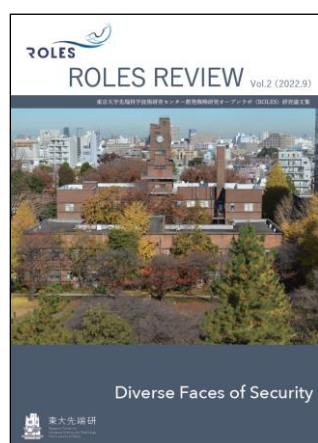
【ROLES Commentary 一覧】

日付	タイトル	筆者
2022.08.08	安倍元首相の「遺産」を考える：日本の外交・安全保障政策に残したもの	Guibourg Delamotte ギブール・ドラモット (INALCO 准教授／先端研客員研究員)

(5) ROLES Review の発行

今年度は、『ROLES Review Vol.2』『ROLES Review Vol.3』を発行した。なお、『ROLES Review Vol.2』は初の試みとして、英語論考のみを掲載した電子媒体として発行した。(下図参照)。

【ROLES Review の表紙】



(6) 『国家安全保障戦略改訂に向けた提言』の発表

2022 / 10 / 31 (月)、新領域セキュリティの諸課題に関する分科会は、日本の新たな『国家安全保障戦略』策定に資することを目的として、『国家安全保障戦略改訂に向けた提言』を発表した。

URL : <https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/uploads/publication/file/44/publication.pdf>



(7) 『ユーラシアの自画像:「米中対立／新冷戦」論の死角』(川島真・鈴木絢女・小泉悠編著／池内恵監修、PHP 研究所)の刊行

中国・権威主義体制に関する分科会の3年間の研究成果の集大成として、書籍『ユーラシアの自画像』を刊行した(分科会メンバーの論稿一覧は下表を参照)。



【目次】

氏名	タイトル
池内 恵	はじめに
川島 真	序章:ユーラシアへの想像力—米中対立／新冷戦の間の世界
岡本 隆司	第1章:琉球から見る東アジア秩序の「内在論理」
西山 美久	第2章:歴史認識をめぐる戦い—プーチン政権と独ソ戦の記憶
乗松 亨平	第3章:ロシアの反体制派ナショナリズム
宮本 悟	第4章:北朝鮮の世界観から見た世界の対立
鈴木 絢女	第5章:南シナ海問題とマレーシア—「合理的国家」を解体する
日下 渉	第6章:ドゥテルテ政権のフィリピン外交—内政の論理と実利の確保
中西 嘉宏	第7章:ミャンマー危機のディレンマ
青木(岡部) まき	第8章:タイの合意なき「バランス外交」—国内政治の力学からみる対外政策
川島 真	第9章:外へとしみ出る内部の論理—中国の「カラー革命」認識と国家の安全
鈴木 隆	第10章:「お仲間」の政治学—中国のロシア政治研究とロシア・ウクライナ戦争の「教訓」
家永 真幸	第11章:台湾からみた人権問題の争点化
伊藤 和歌子	第12章:中国の科学技術力を用いた影響力の行使—宇宙分野を例に
岡本 正明	第13章:東南アジアのスマートシティ・ブームにみる米中対立相対化の可能性
松田 康博	第14章:中国・欧州関係の構造変化—欧州の対中警戒と対台接近はなぜ起きたか?
田中 周	第15章:GCAをめぐる中国の反テロ戦略—アフガニスタンを事例として
山口 信治	第16章:中国—イラン関係の深化とその限界—隔たりのあるパートナーシップ
小泉 悠	第17章:ロシア・ウクライナ戦争と「圧倒的な戦略」
川島 真・小泉 悠・鈴木 絢女・池内 恵	おわりに

(8)『偽情報戦争 あなたの頭の中で起こる戦い』(小泉悠・栗原響子・小宮山功一朗著、ウェッジ)の刊行

新領域セキュリティの諸課題に関する分科会に属する3名の共著による、研究会の成果の一部を公刊した。

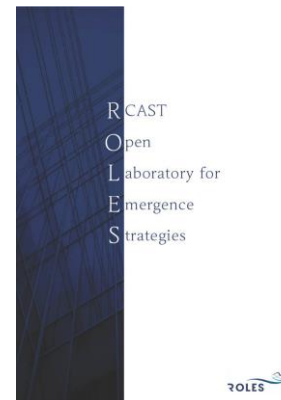


【目次】

- ・はじめに
- ・第1章 外交と偽情報—ディスインフォメーションという脅威 栗原響子
- ・第2章 中国の情報戦—その強硬姿勢と世界の反応 栗原響子
- ・第3章 ロシアの情報作戦—陰謀論的世界観を支える理論 小泉悠
- ・第4章 ポスト「2016」の世界—ロシア・ウクライナ戦争までの情報戦の成功と失敗 小泉悠/栗原響子
- ・第5章 情報操作とそのインフラ—戦時の情報通信ネットワークをめぐる戦い 小宮山功一郎
- ・第6章 民主主義の危機をもたらすサイバー空間—「救世主」から「危機の要因」へ 小宮山功一郎
- ・終章 日本の情報安全保障はどうあるべきか 小泉悠/栗原響子/小宮山功一郎

(9) ROLES パンフレットの刊行

本事業を通じて発足した ROLES の活動とメンバーを知ってもらうためのパンフレット（日本語・英語併記）を刊行した。



(10) メディアでの報道

日本語でのメディア報道は、本報告書の 40-56 ページにまとめたメディア発信一覧を参照されたい。

(11) 「資料」コンテンツの実装

「日米安保資料プロジェクト」の活動の一環として、日米同盟の歴史的資料をまとめ、公開するページを「日米安保資料」データベースという名称で実装した。

吉田・ダレス会談（1951年1月29日）日米記録対照表	
※改行、行頭め、文字詰めを省き、下記対照表に記載している日米各記録の記述の流れは、原資料の通りにしています。	
日本側記録	米国側記録
「1951年1月29日午後ダレス第1次会談メモ」 出典：外務省編纂「平和条約の締結に関する図書 IV」『日本外史文庫 平和条約の締結に関する図書 第二冊（IV-V）』付録5、143-144頁。 https://www.mofa.go.jp/mofag/area/honshu/shiryos/archives/pdf/hetee/joeyaku2_05.pdf	Memorandum of Conversation, by the Deputy to the Consultant (Johnson) U. S. Department of State, Foreign Relations of the United States: 1951, Volume VI, Asia and the Pacific, Part 1, pp427-430. https://history.state.gov/historicaldocuments/frus1951v06p1/0427
日付	Date
1月29日午後4時三井本館で総理とダレス大使と会談せらる。会談の内容をのこし、新聞より得たところをメモにしたもの。	[Tokyo], January 29, 1951.
出席者	Participants
	Participants: Prime Minister Yoshida, Ambassador Dulles, Ambassador Seibald, Assistant Secretary Johnson and Mr. Allison

3-2 事業の実施状況・成果の定量的概要

【調査】

・情報収集・調査実施回数： 0 回

【会議】

・研究会の実施数： 21 回

・シンポジウム／セミナー／ワークショップ等の主催・共催数： 16 回

・他団体主催のシンポジウム／セミナー／ワークショップ等への参加数： 10 回

【情報発信】

・書籍の発行： 2 回

・インタビューや報道発表の実施数： 411 回

・論文やコメントリーの発出数： 15 回

・政策提言を含む報告書の発出数： 1 回

・学術誌の発行： 2 回

・動画公開： 14 本

※ 主要なものにつき、審査委員や政府関係者などが閲覧できるよう URL (未発表のものは概要) を記載。また、上記以外の情報発信 (メールマガジン配信、ウェビナー動画の発信など、独自に実施している情報発信) も該当があれば記載すること。

●主な刊行物

『国家安全保障戦略改訂に向けた提言』

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/publication/20221031>

『ROLES Review Vol.2』

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/publication/20221104>

『ROLES Review Vol.3』

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/publication/20230331>

ROLES「資料」

https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/material_categories

ROLES パンフレット

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/publication/20230330>

ROLES 公式サイト(日本語)

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/>

動画配信

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/videos>

ROLESCast#009 ロシアのウクライナ侵攻－現状と展望(視聴回数トップの動画)

<https://youtu.be/vSdgmzxmjMo>

刊行物

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/publications>

ROLES 公式サイト(英語)

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/en>

You Tube ROLES チャンネル

<https://www.youtube.com/c/ROLESChannel/featured>

ROLES 公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/%E6%9D%B1%E5%A4%A7%E5%85%88%E7%AB%AF%E7%A0%94%E5%89%B5%E7%99%BA%E6%88%A6%E7%95%A5%E7%A0%94%E7%A9%B6%E3%82%AA%E3%83%BC%E3%83%97%E3%83%B3%E3%83%A9%E3%83%9C-104391228337141>

ROLES Twitter

https://twitter.com/roles_hq/status/1415471736053657604

英語での発信の模様(IGSDA ウェブサイト)

<https://igsda.org/>

4-1 事業実施体制

- ・事業を実施するための人的体制、それぞれの役割分担等を記載のこと。
 - ・必要に応じ、それぞれの経験、能力等を示す資料を別添可。
 - ・若手、女性研究者、首都圏以外の研究者にカウントしている場合はそれを分かるようにすること。
- (※) 年齢・性別は評価の際の参考情報として記載するものであり、対外公表はしない。

1 組織図(自由書式)

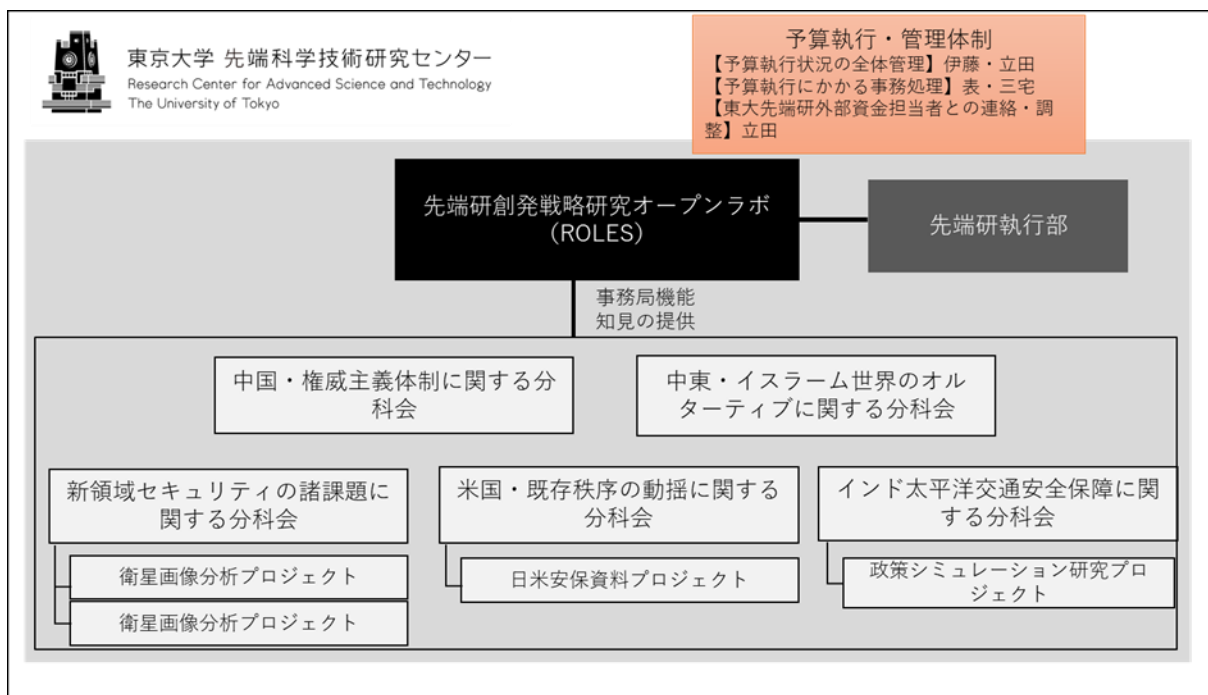
※ 複数の分科会／研究会が設けられている場合は、それらが有機的に連携するためにどのような体制が取られているか明示すること。

※ 予算の執行・管理体制を明示すること。

(1) 組織図(自由書式)

(注) 複数の分科会／研究会が設けられている場合は、それらが有機的に連携するためにどのような体制が取られているか明示すること。

(注) 予算の執行・管理体制を明示すること。



各分科会幹事より池内研究室の総務・経理担当に経費支出(謝金等の振込)を依頼し、総務・経理担当はそれを受けて先端研財務チーム執行・謝金担当に支払い伺いを提出。それに基づき、東大本部で経理処理され、予算執行(振込など)がなされる。ただし、物品購入(同時通訳やデータベース契約等含む)の予算執行は先端研が直接行う。

2 メンバー詳細

事業総括、グループリーダー、研究担当、渉外担当、経理担当等の別	氏名	所属機関・部局・職	役割
先端研開発戦略研究オープンラボ (ROLES)			
事業総括	池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター教授(兼任・先端研開発戦略研究オープンラボ (ROLES) 代表)	・事業全体の総括 ・研究会、シンポジウム等の主宰
事業副総括	小泉 悠	東京大学先端科学技術研究センター専任講師(兼・先端研開発戦略研究オープンラボ (ROLES)・副代表)	・事業全体の研究面に関する総括
事業副総括	立田由紀恵	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員(兼・先端研開発戦略研究オープンラボ (ROLES)・事務統括)	・事業の事務全体に関する総括
事業副総括	伊藤和歌子	東京大学先端科学技術研究センター・シニア・プログラム・コーディネーター／特任研究員	・事業運営にかかる助言 ・外務省と大学事務との調整
事業副総括(全体会合座長)	坂元一哉	大阪大学名誉教授(兼・先端研開発戦略研究オープンラボ (ROLES)・顧問)	・全体会合のとりまとめ ・各分科会の調査研究に関する方向性の取りまとめ ・事業全体の内容に関する調査研究、発信等
中国・権威主義体制に関する分科会			
分科会座長／中国班班長	川島真	東京大学大学院総合文化研究科教授	・分科会のとりまとめ ・中国の権威主義体制に関する調査研究、発信等
幹事／研究担当(同)	伊藤和歌子	東京大学先端科学技術研究センター・シニア・プログラム・コーディネーター／特任研究員	・座長補佐、中国科学技術に関する調査研究
副幹事／研究担当(同)	田中 周	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・中国・新疆ウイグル問題に関する調査研究

中国班・研究担当 (同)	松田 康博	東京大学東洋文化研究所教授	・中国の権威主義体制に関する調査研究
中国班・研究担当 (同)	岡本 隆司	京都府立大学文学部教授	・歴史的観点から見た中国の権威主義体制に関する調査研究
中国班・研究担当 (同)	家永 真幸	東京女子大学現代教養学部准教授	・文化シンボル、パブリックディプロマシーに関する調査研究
中国班・研究担当 (同)	鈴木 隆	愛知県立大学外国語学部准教授	・内政、習近平体制に関する調査研究
中国班・研究担当 (同)	山口 信治	防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官	・戦後外交、対外関係に関する調査研究
ロシア班班長・研究担当(同)	小泉 悠	東京大学先端科学技術研究センター専任講師	・ロシア班のとりまとめ、ロシアの主権思想に関する調査研究、発信等
ロシア班・研究担当 (同)	西山 美久	北海道大学国際連携機構特任助教	・ロシアのナショナリズムに関する調査研究、発信等
ロシア班・研究担当 (同)	乗松 亨平	東京大学総合文化研究科准教授	・ロシアの権威主義体制に関する調査研究、発信等
東南アジア班長・研究担当(同)	鈴木 絢女	同志社大学法学部教授	・東南アジア班のとりまとめ、東南アジア諸国の政治体制に関する調査研究
東南アジア班・研究担当(同)	青木 まき	アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理	・タイに関する調査研究
東南アジア班・研究担当(同)	岡本 正明	京都大学東南アジア地域研究研究所教授	・インドネシアに関する調査研究
東南アジア班・研究担当(同)	日下 渉	名古屋大学大学院国際開発研究科准教授	・フィリピンに関する調査研究
東南アジア班・研究担当(同)	中西 嘉宏	京都大学東南アジア地域研究研究所准教授	・ミャンマー・パキスタンに関する調査研究
北朝鮮班・研究担当 (同) 衛星画像分析プロジェクトメンバー	宮本 悟	聖学院大学政治経済学部教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員	・北朝鮮の権威主義体制に関する調査研究、発信等
中東・イスラム世界のオルターティブに関する分科会			
分科会座長(中東・イスラム世界のオルターティブに関する分科会)	池内恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	・分科会のとりまとめ・イスラム的オルターナティブ思想に関する調査研究

幹事・研究担当(同)、 政策シミュレーション研 究プロジェクトメンバー	立田由紀恵	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	・バルカンにおけるイ スラム復古主義に関 する調査研究
副幹事・研究担当 (同)	田中周	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	・中央アジア・トルコ のウイグル政策に関 する調査研究
分科会助手(同)	狩野希望	学習院大学非常勤講師	・イスラーム法思想に 関する調査研究
研究担当(同)	辻田俊哉	関西外国語大学 英語 国際学部 准教授(特 任)／東京大学先端科 学技術研究センター特 任助教(非常勤)	・イスラエルを中心と した中東の国際安全 保障に関する調査研 究
研究担当(同)	菊地達也	東京大学人文社会系研 究科准教授	・シーア派のイスラーム 的オルターナティ ブ思想に関する調査 研究
研究担当(同)	岩瀬昇	エネルギー・アナリスト 三井物産社友	・中東を中心とする資 源エネルギー市場動 向に関する調査研究
研究担当(同)	今井宏平	日本貿易振興機構アジ ア経済研究所研究員	・トルコの対中東外 交・対米および対中 国外交等に関する調 査研究
研究担当(同)	柿崎正樹	テンプル大学ジャパンキ ャンパス 政治学部 上 級准教授	・トルコの政治体制に 関する調査研究
研究担当(同)	鈴木均	日本貿易振興機構アジ ア経済研究所上席主任 研究員	・イランの政治体制に 関する調査研究
研究担当(同)	山尾大	九州大学比較社会文化 研究院准教授	・イラクにおけるイスラ ーム的オルターナテ ィブ思想に関する調 査研究
研究担当(同)	吉岡明子	日本エネルギー経済研 究所・中東研究センター 研究主幹	・クルド諸勢力の非国 家主体をめぐる政治 と国際関係に関する 調査研究

研究担当(同)	小林周	在リビア日本国大使館書記官	・リビアの政治経済・エネルギー安全保障に関する調査研究
研究担当(同)	斎藤純	日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員	・UAE の政治経済に関する調査研究
研究担当(同)	廣瀬陽子	慶應義塾大学教授	・コーカサスの政治経済に関する調査研究
研究担当(同)	東野篤子	筑波大学人文社会系准教授	・バルカン地域の EU とトルコとの国際関係に関する調査研究
研究担当(同)	松本佐保	日本大学国際関係学部教授	・バチカンの対中東外交、グローバルな宗教間国際政治に関する調査研究
研究担当(同)	平野克己	日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任調査研究員	・アフリカの経済開発に関する調査研究
研究担当(同)	篠田英朗	東京外国語大学教授	・中東・アフリカの平和構築に関する調査研究、コロナ問題の国際政治への影響に関する調査研究、発信等
研究担当(同)	本名純	立命館大学教授	・インドネシアの政治と政軍関係におけるイスラーム主義勢力の影響に関する調査研究
研究担当(同)、現代ユダヤ・イスラーム思想哲学ネットワーク幹事	山城貢司	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・現代のユダヤ教思想・イスラーム思想哲学の発展に関する調査研究、ヘブライ大等のユダヤ系学識者とのネットワーク形成
外部研究協力者(同)	サイイド・ゴネーム	グローバルセキュリティ防衛研究所長(UAE)	・エジプト及び UAE の中東地域安全保障体系構築への役割に関する知見の提供・海外での調査・シンポジウム参加の支援(コネクションの提供等)
外部研究協力者(同)	ウツィ・ラビ	テルアビブ大教授、モシエダヤン中東アフリカ研究センター所長(イスラエル)	・イランの中東国際政治・各国国内政治(イエメン・シリア等)への

			介入に関する知見の提供
米国・既存秩序の動揺に関する分科会			
分科会座長	村田晃嗣	同志社大学法学部教授	・分科会のとりまとめ ・米国の政治外交に関する調査研究 ・冷戦後の既存秩序の形成と再編及び日米関係の長期的将来像についての調査研究
幹事(同)	池内恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	・米国の拡大中東地域におけるプレゼンスの変遷と、他の域外大国の関与の増大に関する調査研究、米・中東関係、米・イスラエル関係の変容に関する調査研究
副幹事・研究担当(同) 日米安保資料プロジェクトリーダー	鍛冶一郎	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	日米同盟の歴史に関する調査研究及びデータベース作成
研究担当(同) 日米安保資料プロジェクトメンバー	坂元一哉	大阪大学名誉教授	・日米関係の歴史的変動に関する調査研究
研究担当(同)	待鳥聡史	京都大学大学院法学研究科教授	・米国政治の制度・構造変動に関する調査研究
研究担当(同)	中山俊宏	慶應義塾大学総合政策学部教授	・米トランプ政権の米一国主義政策に関する調査研究
研究担当(同)	小谷哲男	明海大学外国語学部教授	・米トランプ政権下における秩序観の変容に関する調査研究
研究担当(同)	鶴岡路人	慶應義塾大学総合政策学部准教授	・EU 諸国における秩序観の変容、米欧関係の変容に関する調査研究
研究担当(同)	杉田弘毅	共同通信社特別編集委員	・米国・欧州等における既存秩序の動揺に関する調査研究 ・トランプ政権の対中・対イラン経済制裁

			に関する最新の動向調査研究
研究担当(同)	瀧井一博	国際日本文化研究センター教授	・グローバル化の中での国家と地方の関係に関する調査研究
研究担当(同) 日米安保資料プロジェクトメンバー	高橋慶吉	大阪大学大学院法学研究科教授	・戦後米国の東アジア政策に関する調査研究
研究担当(同) 日米安保資料プロジェクトメンバー	小島吉之	帝塚山大学非常勤講師	・日米の情報協力に関する調査研究
研究担当(同)	杉田弘毅	共同通信社特別編集委員	・米国・欧州等における既存秩序の動揺に関する調査研究 ・トランプ政権の対中・対イラン経済制裁に関する最新の動向調査研究
研究担当(同)	瀧井一博	国際日本文化研究センター教授・副所長	・グローバル化の中での国家と地方の関係に関する調査研究
新領域セキュリティの諸課題に関する分科会			
分科会座長(新領域セキュリティの諸課題に関する分科会)、衛星画像分析プロジェクト／情報安全保障プロジェクトリーダー、政策シミュレーション研究プロジェクトメンバー	小泉悠	東京大学先端科学技術研究センター専任講師	・分科会のとりまとめ ・新領域の安全保障に関する調査研究
幹事(同)	狩野希望	学習院大学非常勤講師	・座長補佐
研究担当(同) 情報安全保障プロジェクトメンバー	佐橋亮	東京大学東洋文化研究所准教授	・米中大国間関係に関する調査研究
研究担当(同)	鈴木一人	東京大学公共政策大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員	・宇宙・サイバー・感染症をめぐる国際安全保障に関する調査研究
研究担当(同) 情報安全保障プロジェクトメンバー	飯塚恵子	読売新聞編集委員	・諸外国のシャープパワーと既存秩序の側の対応に関する調査研究
研究担当(同)	池田有紀美	国連軍縮部政務官補	・量子技術と安全保障に関する調査研究

研究担当(同) 情報安全保障プロジェクトメンバー	栞原響子	日本国際問題研究所研究員	・シャープパワーに関する調査研究
研究担当(同) 情報安全保障プロジェクトメンバー	小宮山功一朗	慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート・客員所員	・サイバーセキュリティに関する調査研究
研究担当(同) 情報安全保障プロジェクトメンバー	高森雅和	株式会社 Dafna 代表取締役社長	・SNS を中心としたメディア戦略に関する調査研究
研究担当(同)	中井治郎	龍谷大学社会学部非常勤講師	・グローバルな人間の移動が外交・安全保障政策に及ぼす影響に関する観光社会学からの調査研究、ポスト・インバウンドのグローバル・ツーリズムに関する調査研究
研究担当(同) 情報安全保障プロジェクトメンバー	中井遼	北九州市立大学政策科学学科准教授	・バルト三国におけるロシアのシャープパワー行使に関する調査研究、発信等
研究担当(同) 情報安全保障プロジェクトメンバー	松本充豊	京都女子大学現代社会学部教授	・中国のシャープパワー行使に関する調査研究
研究担当(同)	山口亮	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	・エマージングテクノロジーと安全保障に関する調査研究
外部研究協力者(同)	村野将	ハドソン研究所研究員(米国滞在中)	・シャープパワーに対する米国の抑止政策及び日米の安全保障に関する知見の提供 ・海外での調査・シンポジウム参加の支援(コネクションの提供等)
インド太平洋交通安全保障に関する分科会			
分科会座長(インド太平洋交通安全保障に関する分科会)、政策シミュレーション研究プロジェクトリーダー、衛星画像分析プロジェクトメンバー	山口亮	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	・エマージングテクノロジーと安全保障に関する調査研究

幹事(同)	立田由紀恵	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・座長補佐
副幹事(同)、政策シミュレーション研究プロジェクトメンバー	豊田耕平	東京大学先端科学技術研究センター協力研究員	・座長補佐
研究担当(同)	コリン・コー・スウィー・リー	ラジャラトナム国際学研究所リサーチ・フェロー	・海洋安全保障問題とインド・太平洋地域諸国の安全保障政策に関する調査研究
研究担当(同)	ウー・シャンスー	ラブダン・アカデミー助教授	・鉄道部門における安全保障問題とインド・太平洋地域諸国の安全保障政策に関する調査研究
研究担当(同)	クリストファー・ラモント	東京国際大学准教授	・民間航空部門における安全保障問題と国際法(民間航空)に関する調査研究
研究担当(同)	ジェフリー・オーダニエル	東京国際大学専任講師	・海洋安全保障問題と国際法(海洋法)に関する調査研究。
研究担当(同)	アシュラ・サレ	グローバル・アウェアネス・インパクト・アライアンス(GAIA)共同創業者	・海洋安全保障問題と国際法(海洋法)及び国際協力に関する調査研究
総務・経理担当			
総務・経理担当	三宅 由美子	東京大学先端科学技術研究センター事務補佐員	・事業内容に関する総務・経理 ・事業内容に関する渉外
総務・経理担当	表 真琴	東京大学先端科学技術研究センター事務補佐員	・事業内容に関する総務・経理 ・事業内容に関する渉外
総務・経理担当	江頭 裕士	東京大学 先端科学技術研究センター財務チーム外部資金担当	・事業全体の総務・経理